

# 外 国 語 学 部

(2000年度以降に  
入学した学生に適用)

共 通 科 目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40101	言語研究の基礎（言葉の機能）	選必	春学期	2	2	玉崎 孫治
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 “ことば” の働き（意味）

【講義内容】 人間のコミュニケーションに必要な言語の研究は、形式と機能の両面から研究しなければならない。日常生活の中で使われる「ことば」の姿をありのままに研究すると、初めて言語の機能と形式の関係が多面的にみえてくる。本講義では、英語や日本語をデータに使いながら、言語と人間、言語と社会等の関係を機能的に研究する方法を講じる。

【講義計画】 「言語はコミュニケーションの道具である」という主張には誰も異論は持たないであろうが、ではどのような道具であるか？ 言い換えると、どのような働きをしているのか？ については必ずしも一言では答えられない。本講義では、人間社会の中における“ことば”の働きについて多面的に考察する。この考察の基礎となるのは、言語の機能的分析の現代的展開の一つで、選択体系的機能言語学と呼ばれる言語研究である。次のような項目を中心に講義を進める。

1. 言語の形式的研究と機能的研究の違い
2. 言語能力と言語伝達能力
3. 言語とコンテキスト
4. 言語の三つの機能
5. ジャンルとレジスター
6. 機能的文法研究
7. テキストのバリエーション

【評価方法】 学期末試験と小テストの総合判断で評価する

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40106	言語研究の基礎（文法論）	選必	秋学期	2	2	有元 将剛
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 現代言語学の基本概念を学ぶ。言語学の基本領域である音韻論、形態論、統語論、意味論のうち、特に統語論に焦点をあて、最近の言語理論の基礎について延べ、言語分析の方法を学ぶ。英語と日本語は（あるいは他の人間言語も）一見大変違う言語のように思われるが、無原則に異なっているのではないこと、共通に働く普遍文法（UG）があることなどを論じる。

【講義計画】 講義形式ではあるが、適宜、質疑応答を含める。一方的に講義するのではなく、一緒に考えていきたい。次のような項目を中心に講義を進める。

- ことばを知っているということはどういうことか
- ことばのまとまり：2項述語と3項述語
- 日本語と英語：主要部パラメーター
- 移動（NP移動、Wh移動）
- 代名詞、再帰代名詞（束縛理論）

【評価方法】 期末試験、小レポートなどで総合的に評価する。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
40111	言語研究の基礎（形態論）	選必	秋学期	2	2	石 井 賢 治
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文や句を考察の対象とする統語論と並んで、形態論は語を考察の対象とする文法の一部門である。ここでは語の構造、形態素、語の形成といった分野の基礎概念を、時に練習問題もまじえながら習得し、それに基づく記述の仕方などを概観する。

【講義計画】 言語学の一分野である形態論をここでは広く捉え、なかでも特に語構造ならびに語形成を取り上げる。語を構成している要素としての形態素、ならびに語根、語幹、接辞といった形態論的単位とその認定ならびに分類の仕方などを解説に加えてできるだけ練習問題もまじえて学ぶ。さらにこれらの諸概念を基に、語の構造や語の形成がどのように記述されるかを見ていく。

【評価方法】 定期試験をはじめ、授業での練習結果、質疑応答、出席状況なども考慮して評価。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
40116	文学研究の基礎（小説）A	選必	秋学期	2	2	MAYER David
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 AMERICAN NEIGHBORHOOD NOVEL

【講義内容】 文学の特質は、人間が問い続けてきた存在の謎や多様な人間の行動を一つの物語の枠に収め、言葉の魔術的な効果によって我々に未知の世界・心理を体験させることにある。

この講義は、英米文学の小説を取り上げ、様々の要素（プロット、性格描写、象徴、主題、作者の視点など）が、いかに組み合わせられ、一つの作品世界が造形されているかを明らかにすると同時に、文学作品の熟練した読みが人生への洞察を拓げ・深めることを明らかにする。

【講義計画】 This course on the novel stresses setting (where the action takes place), progress of the plot, ethnic backgrounds of the characters, author's themes, and interdisciplinary approaches to the novel. The teacher will lecture in English for fifteen minutes on the material assigned from the textbook. After fifteen minutes there will be small-group discussion and questions to the teacher. Then the teacher will continue to lecture for another fifteen minutes, etc. At times video will be used to illustrate the cities and neighborhoods described in the text.

The following groups of people, writers, and cities will be studied from sociological, historical, and literary viewpoints: 1: Irish / Farrell and Greeley / Chicago; 2: Italian / Puzo / New York; 3: Japanese / Toshio Mori and Sone / Oakland and Seattle; 4: African / Wideman / Pittsburgh.

【評価方法】 The grade will be based upon: 1) class attendance, 2) written work done in class (quizzes and reflections), 3) Mid-term and Final examinations. It is expected that the students read the assigned material before the class so they will have some idea of what the teacher is talking about.

【テキスト】 Mayer, David. *Door Stoops and Windowsills: Perspectives on the American Neighborhood Novel*. Yamaguchi Publishing House.

【その他】 video

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40121	文学研究の基礎（小説）B	選必	秋学期	2	2	生野 芳徳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 小説というジャンルに即して、まず文学作品（fiction）のテキストの特性について理解させ、小説を構成する諸要素（素材、モチーフ、時間構造、登場人物、語りの視点、登場人物の内面描写の技法など）に注意を、向けさせた上で、Stanzel に代表される語りの状況（Erzählsituationen）に基づく小説類型論や、構造主義の理論、受容理論を紹介し、また作品解釈のための多様なアプローチの可能性（心理学的、社会的、精神史的等の）を紹介し、作品解釈のいくつかの可能性を、事例テキストに即して具体的に示す。

- 【講義計画】
1. 小説のテキストの特徴（テキストの種類の観点から）  
事実を報告するテキストとフィクションのテキスト（原理的区別）  
小説のテキストに内在する特徴（物語の過去形、登場人物の内面叙述、語り手）
  2. 小説の歴史（ドイツの例を中心に）
  3. 小説はどのようにして書かれるか。  
素材、資料、構成、モチーフ、テーマ、間テキスト性
  4. 小説はどのように読まれるか。（小説の受容）
  5. 小説はどのように読まれるべきか。（小説のテキストの分析と解釈）
  6. 小説の構造
    - （1）作者・語り手・物語られた世界・読者
    - （2）語りの状況（Stanzel）
    - （3）小説の時間
    - （4）登場人物の内的発話の諸形態（体験話法〔自由間接話法〕、内的独白）
    - （5）小説の中の言葉－明示的な意味と暗示的な意味
    - （6）作品の「表層構造」と「深層構造」
  7. 具体例による分析と解釈

【評価方法】 レポートに基づいて評価する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40126	文学研究の基礎（詩）	選必	春学期	2	2	中 裕 史	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 まず詩の定義から入り、その発生、発展の状況を、ヨーロッパとの相違を視野に収めつつ、主として中国の詩について概観する。そして、19世紀後半以降の、古典詩から現代詩への転換に注目し、中国文学の伝統やヨーロッパ文学の影響のなかで、どのような作品や理論が生まれ出されてきたかを検証する。

【評価方法】 適宜、鑑賞文などの提出を求めて平常点とし、これに期末のレポートをあわせて評価する。

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40131	文学研究の基礎（演劇）	選必	春学期	2	2	佐竹 謙一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 基本的には中世末期の『ラ・セレスティーナ』から、現代演劇までを扱うが、必要上各時代の主な詩や小説などにも言及する。

1. 『ラ・セレスティーナ』

2. 『ピカレスク小説』（特に『ラサリーリヨ・デ・トルメスの生涯』）
3. 『ドン・キホーテ』
4. 黄金世紀の演劇（1）
5. 黄金世紀の演劇（2）
6. 18世紀の演劇
7. 19世紀の演劇
8. 19世紀の小説と詩
9. 1898年代の作家群
10. 20世紀の演劇

【評価方法】 定期試験。

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40136	外国語教育の基礎	選必	春学期	2	2	松永 隆
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 外国語教育の現状と問題点を分析し、解決策を模索するために必要な、基礎的な知識の習得を目的とする。受講者がこれまで受けてきた外国語教育を振り返る機会を設定し、特定の教育的アプローチの背後にある言語理論、教育・学習理論、具体的な指導手順と教材を考察する。自己教育能力を育てる学習者中心の語学教育のあり方についても言及する。

【講義計画】 次の項目を取り上げていく：  
 1) 外国語教育の基本的原理  
 2) クラスルームにおける動機づけ  
 3) 学習と言語中枢  
 4) 外国語教育と関連分野  
 5) 外国語教育と学習者要因・学習環境  
 6) 外国語教育へのアプローチ

【評価方法】 毎回回収するフィールドバック・フォーム、隔週実施する小テスト、中間・期末テスト、出席を総合的に評価する。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリントを使用する。参考文献については次のURLを参照：  
<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~matunaga/nuts/archives/archive.html>

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40141	コミュニケーション研究の基礎 (人文的アプローチ)	選必	春学期	2	2	岡部 朗一
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 コミュニケーションの本質をよりよく理解するために

【講義内容】 人間のコミュニケーションの本質をより良く理解するためと、3、4年次に開講される外国語学部英米学科のコミュニケーション関連科目を深く理解するための基礎科目として、本授業科目を位置づけたい。人間のコミュニケーションをどのように見たらよいか、その研究はどのようなものか、その領域に対してどのような研究上の接近法があるかといったトピックについて、主に人文的アプローチから講義を行う。

【講義計画】 講義では、次のようなトピックを扱いたい。  
 ● コミュニケーションという学問領域  
 ● コミュニケーション研究への接近法  
 ● コミュニケーションの基礎概念

- 対人コミュニケーションの特質とその分析
- 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの特質とその分析法
- 小集団（スモールグループ）の特質とその分析法

【評価方法】 1回の定期試験、コミュニケーションに関する分析レポート、それに毎週の授業時に行う出席調査（受講者よりのフィードバック・カード）を総合的に考慮して、最終評価を出す。

【テキスト】 必須図書・参考資料：  
 1) 岡部朗一『異文化を読む——日米間のコミュニケーション』東京：南雲堂、1988年。  
 2) 「講義概要」（授業時に配布するプリント資料）  
 その他の参考書：  
 1) 石井敏、岡部朗一、久米昭元『異文化コミュニケーション——新・国際人の条件（改訂版）』東京：有斐閣、1996年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40146	コミュニケーション研究の基礎 (社会心理的アプローチ)	選必	秋学期	2	2	近藤 祐一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 我々が普段何気なく行っているコミュニケーションをこれまで行われたコミュニケーション、社会心理学などの研究をもとに解き明かす。言語コミュニケーションだけではなく非言語コミュニケーションについても考察し、一対一の場合、小集団の場合、さらにはマスメディアを通じた場面も取り上げる。最後には、同一文化内のコミュニケーションだけではなく、異文化状況でどのようにコミュニケーションが変化するかを概観する。

【講義計画】 次の項目を順に追って進める。

- ・コミュニケーションとは何か  
コミュニケーションという領域の視点
- ・コミュニケーションの基礎的な概念  
コミュニケーションのモデルとキーワード
- ・言語によるコミュニケーション  
言葉はどこまでコミュニケートできるのか
- ・非言語によるコミュニケーション  
言葉以外の伝達手段でコミュニケートできるのか
- ・対人コミュニケーション  
あなたと私のコミュニケーション
- ・複雑なコミュニケーション  
小さな集団や公的なコミュニケーション
- ・テレビとコミュニケーション  
テレビは何をコミュニケートしているのか
- ・文化を越えたコミュニケーション  
異なる文化背景を持った人たちはどうコミュニケートできるのか

授業は、講義、実習を中心に行うが、課外でプロジェクトを科す。授業に関する資料も適時アサインする。課外でこの授業に必要な学習時間は約5時間。

【評価方法】 この授業の評価は中間と期末試験（各50%）により行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40151	思想研究の基礎	選必	秋学期	2	2	加藤 泰史	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 哲学的問題の発見からテキストの読み方まで

【講義内容】 思想を研究する際の文献情報の探索の仕方や、さらに理解しやすい初歩の思想書をテキストに取り上げ

て思想書の読解の仕方などを訓練することによって、思想研究の基礎を学ぶ。

- 【講義計画】
- (1) 文献の探索方法について——図書館の利用法など——
  - (2) 口頭発表の方法——レジュメの作成——
  - (3) テキストの読み方と「問題」の発見  
和辻哲郎『風土』など
  - (4) 参考文献の利用法について
  - (5) まとめ

【評価方法】 講義中の聴講態度・質疑応答・レポート等の成績から総合的に評価する

【テキスト】 和辻哲郎『風土』（岩波文庫）

【その他】 参考文献：『知の技法』（東京大学出版会）  
オーギュスタン・バルク『日本の風景・西洋の景観』『都市のコスモロジー』（講談社現代新書）など

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40156	政治研究の基礎（アメリカ）	選必	秋学期	2	2	岩野 一郎
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 『政治の諸要素—アメリカの事例を通じて眺める』

【講義内容】 この講義は、主として地域研究関連科目を3・4年次に履修しようとする学生のために、政治を眺める基礎的な知識を与えることを目的としている。政治研究の基礎となる概念—権力・国家・主権・立憲主義など—のファンダメンタルズからはじめ、事例をアメリカ合衆国に求めながら政治の枠組みである司法・立法・行政の三権、それを支える基本法である憲法、国民の政治過程への参加を保障する諸制度—選挙・政党・圧力団体など—と、その背後にある考え方を学んでいく。

【講義計画】 まず政治の基礎である権力や正統性、民主主義・人民主権などの基礎概念を説明する。次いで立憲主義の説明に引き続き、合衆国憲法の成立とその背後の問題に触れる。さらに、行政（大統領制）、立法（連邦議会）、司法（最高裁判所）の順に議論を進める。アメリカの政治制度の特色となっている連邦制の意味を考察するために、州と地方政治を眺め、それらをまとめる意味で国民の政治参加を制度的に保証している選挙権や代表制の展開を検証する。

【評価方法】 評価は学期中間に課すレポートと、期末試験の結果によって行う。大教室であっても、学生との対話を行いながら授業を進めるので、積極的な参加を期待している。

【テキスト】 Targonski, Rosalie. (ed). Outline of U.S. Government. Office of International Information Programs, United States Department of State.  
阿部斉『政治学入門』岩波書店 1996年  
他に適宜プリントを配付する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40161	政治研究の基礎（ドイツ）	選必	秋学期	2	2	鈴木 宗徳
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 今日、政治学が課題としている諸問題を紹介しつつ、政治学の分析手法とその最前線を学ぶ。政治学が内包する様々な領域を横断的に取り上げ、特に、新自由主義と市場メカニズムの問題、国民国家の限界と国際的秩序の問題、代表制と自己決定の問題、市民運動と公共性創出の問題、日常生活におけるマイクロな権力作用の問題などを検討する。

【講義計画】 1. 政治学の基本的な考え方——自治と統治

2. 新自由主義的改革とその影響——雇用問題・階層化・グローバル化
3. 民主主義の理念と現実——官僚支配と議会制民主主義
4. 権力論の射程——暴力としての権力、訓育する権力
5. 国際紛争と南北問題——国際貢献のあり方
6. 将来の民主主義社会の理念——参加民主主義の可能性

【評価方法】 学期末に一回、筆記試験を行う。また評価とは無関係であるが、授業中にしばしば、授業で扱った内容にかんする質問や意見を紙に書いて提出してもらうことを求める。

【テキスト】 テキストは用いない。プリントを配布するほか、必要な文献を適宜授業中に紹介するので、学期末試験の参考にしてほしい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40171	社会学研究の基礎 (アメリカ)	選必	春学期	2	2	藤本 哲史
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 この授業では、社会構造や変動メカニズムの分析に有効な理論や概念の応用性、また批判的アプローチの道具的実用性などについて考察する。社会全般を価値意識、規範、制度、権力、階級などの構成要素に分解し、それぞれが社会秩序の維持や変容にどのような役割を果たしているかを考える。特にアメリカや日本の社会における具体的問題点、たとえば経済システムと雇用、人種や性差別、家族構造と性役割、教育化社会の競争原理、権力分配の不平等などを取り上げ、それらの構造やメカニズムを説明するために、社会学的道具はいかに有効かを検討する。

- 【講義計画】
- 1 社会学とは：社会学の視点
  - 2 社会学の前提条件
  - 3 ふたつの社会学的アプローチ：Order ModelとConflict Model
  - 4 社会組織の過程：社会的相互作用と社会的関係
  - 5 社会構造の構成要素（1）：規範、価値観
  - 6 社会構造の構成要素（2）：ステータス、社会的役割
  - 7 社会構造の構成要素（3）：社会的統制、社会集団
  - 8 社会構造と階層化
  - 9 社会階層と不平等の構造化：貧困とホームレス問題を考える
  - 10 性の階層化：企業のコース別人事制度を考える
  - 11 階層化装置としての学校教育
  - 12 家族：家族病理と社会構造

【評価方法】 期末試験 100%

【テキスト】 指定テキストは用いない。授業内に配布するレジュメおよび資料を参考のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40176	社会学研究の基礎（アジア）	選必	秋学期	2	2	松戸 庸子
他の科目との関連	人文学部 社会学概論Bとしても履習可					他学科履修可

【講義内容】 社会保障制度は、福祉国家と呼ばれる先進諸国においては少子高齢化や経済成長の鈍化に伴って、その改革が必至のものとなり、開発途上国では生活水準の向上や産業化達成の受け皿として、その整備が急務となっている。主に産業社会学者ウィレンスキーの理論を援用して、社会保障制度に関する社会学的なパラダイムを紹介する。

- 【講義計画】 人口高齢化に伴う社会保障支出の増嵩というウィレンスキーの命題を、中国（中華人民共和国）社会で検証する。
1. 建国後の人口問題と人口政策の推移
  2. 高齢化水準と老人扶養システムの変容

3. 社会保障システムの二元的構成
4. 市場社会化と福祉の後退
5. まとめ：成長が福祉か？

【評価方法】 平常点（発言回数や小テスト）と学期末筆答試験

【テキスト】 適宜プリントを配布する

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
40181	国際関係論の基礎 (日本とアメリカ)	選必	秋学期	2	2	宮川 佳三	
他の科目 との関連						他学科 履 修	可

【副 題】 日米関係の歴史と課題

【講義内容】 今日の世界ができてきた推移を、歴史的観点から、整理する。パックス・ブリタニカの時代、パックス・アメリカナの時代、第二次大戦後の米ソの対立の世界の在り様、バランス・オブ・パワーとはどういうことか、戦争と平和の問題、第二次大戦後の経済・貿易レジーム—IMF・GATT—等の理解を深める。更に今後の国際社会の諸問題—人口・食糧・資源・環境—を考える基礎的知識を提供する。

【講義計画】 本講座では、主に日本とアメリカの関係を主に扱うが、この二国関係は国際社会の中に於いて存在する関係であるので、国際政治・経済の発展・変化を歴史的にとらえる作業が不可避であります。それ故にアメリカの植民地時代からの国際社会の状況の変化を知り、アメリカの発展と国際社会の係わりを理解し、同時に日本をそうした変化の中に位置づけます。

日米戦争への道を知り、日本敗北以後のアメリカと日本の関係——特に日本はアメリカとの関係で何を、何を失ったかを知る努力をします。そうした作業の中から21世紀の日本の国際社会とのあるべき関係が見えてくるものと思います。そのための知的訓練の場を提供出来るような講義にします。

【評価方法】 レポートorブック・レビュー一点。定期試験、小テスト（4回ぐらい）。出席も評価に当り考慮する。

【テキスト】 細谷千博編 『日米関係史』（有斐閣）  
アメリカ外交、国際政治、日米関係、日本外交を扱った論文。

【そ の 他】 参考図書  
細谷千博編 『日米関係通史』（東大出版会）  
猪口邦子 『戦争と平和』（東大出版会）  
野田宣雄 『二十世紀をどう見るか』（文春新書）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
40186	国際関係論の基礎（日本とアジア） 1	選必	春学期	2	2	ZAGORSKY Alexei	
他の科目 との関連						他学科 履 修	可

【講義内容】 国際関係論の入門として、それまでの歴史と理論を概観し、国際社会に生起する現状を体系的に捉える分析視角を学習する。特に、今後成長著しいアジアの国際関係に焦点を当て、国際関係論の観点から、アジア地域の諸問題（地域主義、地域機構、安全保障問題、日本の役割）を考察する。

【講義計画】

1. アジアにおける冷戦の特徴
2. 日米安保条約の発展と役割
3. 中ソ関係の発展
4. 朝鮮戦争、ベトナム戦争と盗難アジア状況の変遷
5. 米中、日中関係の正常化、アジアにおける中華人民共和国の新しい役割
6. 90年代における中国のアジア対策、香港、台湾、南シナ海諸島の諸問題
7. 朝鮮半島の南北対話と外国（米国、中国、日本、ロシア）の役割
8. ソソ、日露関係の展開、

- 9. 南アジアの国際関係
- 10. イラン革命の国際的役割、アフガン戦争、イスラム原理主義
- 11. 中近東紛争史
- 12. アジアの地域主義

【評価方法】 テスト又は論文

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40187	国際関係論の基礎（日本とアジア）2	選必	秋学期	2	2	須藤 季夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 国際関係論の入門として、これまでの歴史と理論を概観し、国際社会に生起する現象を体系的に捉える分析視角を学習する。特に、今日成長著しいアジアの国際関係に焦点を当て、国際関係論の観点から、アジア地域の諸問題（地域主義、地域機構、経済統合、安全保障問題、日本の役割）を考察する。

- 【講義計画】
- 〔1〕 国際関係論入門
  - 〔2〕 アジア国際関係へのアプローチ
  - 〔3〕 冷戦期の国際関係とアジア
  - 〔4〕 国際関係論と発展の政治経済学
  - 〔5〕 日本とアジアの発展
  - 〔6〕 国際関係論と地域主義
  - 〔7〕 日本と東アジア
  - 〔8〕 日本と東南アジア
  - 〔9〕 日本とASEAN,
  - 〔10〕 ポスト冷戦期の国際関係論
  - 〔11〕 金融危機をめぐる日本とアジア
  - 〔12〕 アジアの21世紀と日本の役割

【評価方法】 レポートと期末試験

【テキスト】 平野健一郎編『地域システムと国際関係』東大出版会、1994年  
 斉藤元秀編『東アジア国際関係のダイナミズム』東洋経済新報社、1998年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40191	国際関係論の基礎（日本と中南米）	選必	春学期	2	2	遅野井 茂雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 世界におけるラテンアメリカと日本

【講義内容】 ラテンアメリカの国際関係を、ラテンアメリカ・システム、インターアメリカン・システム、イペロアメリカン・システム、グローバル・システムの角度から整理し、政治、経済、文化における協力と対抗の関係の視点を通じて、国際社会におけるラテンアメリカの位置づけを確認する。

- 【講義計画】
- 1. 世界におけるラテンアメリカ
  - 2. 征服の遺産と文化的絆
  - 3. 米州関係：北方の巨人との愛憎関係（1）  
米州関係：北方の巨人との愛憎関係（2）
  - 4. 第3世界との関係：南北問題
  - 5. グローバル化と地域統合の時代
  - 6. 日本とラテンアメリカ
    - （1）支倉常長からマリア・ルース号事件
    - （2）日本人移住と排日の歴史
    - （3）第2次大戦後の関係

- (4) フジモリ政権にみる日本の援助政策  
 (5) 逆流する日系ラティーノ  
 7. まとめ

【評価方法】 「私とラテンアメリカ」と題するレポート（4000字）  
 定期試験、授業への参加度に基づく。

【テキスト】 なし。必要に応じてプリント配布。  
 参考書は授業中に紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40196	歴史研究の基礎 (アメリカ)	選必	秋学期	2	2	川島 正樹
他の科目 との関連						他学科履修可

【副題】 植民地時代から現代にいたるアメリカ合衆国史概説

【講義内容】 この授業では、グローバル化が急速に進む世界の現状を射程に据えながら、近代世界の歩みを総合的に概観し、歴史的アプローチによって今日の人類社会にとっての本質的問題の理解を深め、歴史主体としての自己認識の確立を目指す。具体的には、近代世界システム論を一つの有効な理論的支柱として参照しつつ、周縁地域として出発しながら比較的短期間で中心地域の一翼をになうまでに発展し、やがて世界的ヘゲモニーを確立するに至るアメリカ合衆国の歴史に特に注目しながら、多様性に基づく平等の在り方の模索など、21世紀の人類社会が共通に取り組むべき普遍的な諸問題を歴史的に考察することを通じて、問題解決に向けた積極的関与の態度を養う。

【講義計画】 現在日本ともっとも深い関係にある国の一つである、アメリカ合衆国の歴史を、「異文化遭遇」「多文化主義」「自由と不自由の併存」「人種」「ジェンダー」をキーワードに、植民地時代から独立革命期を経て南北戦争後までを概観することを目指します。この授業では担当教官からの一方通行的な授業になることを極力回避するよう努めます。担当者は授業中、特に各章のはじめにいくつかの問いかけを発し、受講生は各章の終わりの時点でそれに答えなければなりません。毎回の授業で質問や意見の発表を積極的に行うことも奨励されます。

具体的には次の各項目をほぼ1回ずつの授業を当てて学習します。

- (1) はじめに——先住アメリカ人の世界
- (2) 諸民族／諸人種の出会い——英領北米植民地の発展と奴隷制
- (3) 独立への道程——なぜ世界最強の英国と命を賭けて人びとは戦ったのか？
- (4) 本当に「革命」だったのか？——独立後も奴隷制が残った理由
- (5) 工業化と綿花王国の関係——独立後の経済発展を支えた奴隷制
- (6) 南北戦争への道程——最も悲惨な「内戦」の原因と結果
- (7) 中間試験
- (8) 大陸内膨張から海外へ——帝国主義時代の内政と外交
- (9) 「新移民」の流入と革新主義——前向きと後ろ向きの「諸改革」と第一次大戦
- (10) 両大戦のはざま——大衆消費社会、大恐慌、ニューディール
- (11) 第二次世界大戦はアメリカも変えた——「孤立主義」からグローバリズムへ
- (12) 冷戦期のアメリカの内政と外交——1960年代とは何だったのだろうか？
- (13) 変わりゆくアメリカ——21世紀も「アメリカの世紀」か？
- (14) 期末試験

【評価方法】 中間テストと期末テスト（ともに論述問題を含む）に、授業中の意見発表を加点します。

【テキスト】 富田虎男、他編『アメリカ史を知るための60章』（2000年、明石書店）。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
40201	歴史研究の基礎 (スペイン)	選必	夏期前半	2	2~4	金 七 紀 男	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 歴史研究の基礎 (スペイン)

カトリック両王の時代からフェリーペ4世治世までの約200年間にわたる隆盛と衰退の経緯を取り上げる。外交・軍事分野においてヨーロッパを指導したスペインと経済的立ち遅れたスペインの著しい差異を描写、分析することによってスペインの虚像と実像を描ければ幸いである。8世紀から15世紀までの、約8世紀近くイベリア半島に存在したイスラームが残した痕跡とレコンキスタの政治的・社会的・経済的・精神的影響を主に講義し、併せてスペインに存在したキリスト教徒、イスラーム教徒、ユダヤ人3教徒の共存と葛藤の歴史についても説明する。

なお本年は、カトリック両王の時代から新世界に進出したスペインとそれと競う形でアフリカ・アジアに進出したポルトガル、このイベリア二国の近現代の歴史を世界史の中に位置づけながら講義する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
40206	歴史研究の基礎 (ドイツ)	選必	秋学期	2	2	岡 地 稔	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 歴史学は、まず第一に客観的な事実の探究に基礎をおく学問であるが、それにもかかわらず、事象の解釈において時代による拘束をまぬがれない。この講義では、ドイツの歴史に特に注目しながら、客観的な事実関係の探究についてやされた努力と、それへの解釈のもつ時代による被拘束性についてふれ、この問題をとおして歴史研究のありようを考えていく。

【講義計画】 フランク王国が分裂してドイツ王国とフランス王国へと発展していく時代状況のうち、節目となるいくつかの局面をとりあげて、史料分析を中心に考察を加えていきたい。  
今期は879年におけるボゾー・フォン・ヴェイエンヌの国王選挙をめぐる問題をとりあげる。

【評価方法】 試験、および出席状況

【テキスト】 使用せず

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
40211	経済研究の基礎 (ミクロ経済学)	選必	春学期	2	2	西 村 貞 雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 経済問題を論じる上で必要な経済学の基礎概念とその考え方をミクロ経済学を中心に説明する。基礎的フレームワークを実例に促して説明し、「効率性」などの重要な概念を把握できるようにする。講義には国際経済学の基礎である比較優位の簡単な説明まで含む。

【講義計画】 講義は以下のような内容になる予定

1. 経済問題とは何か
2. 需要曲線の意味
3. 費用と供給曲線
4. 価格と市場の効率性
5. 比較優位－貿易の考え方
6. 不完全競争と市場の失敗

【評価方法】 1・2回練習問題などについてレポート提出を求める予定。成績はこのレポートと定期試験に基づいて評価する。

【テキスト】 本年度はテキストを使用せず、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40216	経済研究の基礎（マクロ経済学）	選必	秋学期	2	2	安原 毅	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 マクロ経済学の基礎的フレームワーク

【講義内容】 3年次以降の地域研究科目の準備として、一国全体の経済を対象とするマクロ経済学の基礎を解説する。初心者を中心に対象とするが、最終的にはある程度のレベルまで達するので、経済問題に関心のある学生諸君に受講してもらいたい。

【講義計画】  
 1. GNP、GDP、国民所得について  
 2. 消費、貯蓄、投資について  
 3. 貨幣の需要と供給  
 4. IS-LMモデル、財政政策、金融政策、構造改革

【評価方法】 筆記テストによる

【テキスト】 コピーを配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40501	対照言語学	選必	秋学期	2	3・4	高橋 覚二	
他の科目との関連	スペイン語学特殊研究					他学科履修	可

【講義内容】 目的は、系統の異なる英語や母国語の日本語との構造を突合させることによって、スペイン語に関するより深い認識を得る事、視野の広い研究を行なえる素地を作る事である。物事は単独に存在し得ず、他との対立・対応の関係の中で存在している。それゆえ、物の価値を正しく捉えるためには、他と比較・対照することが不可欠である。スペイン語を中心に据え、文の中核となる動詞を中心に構造に迫っていきたい。

【講義計画】 1) 対照言語学の位置付け、 2) 語形成、 3) 品詞、 4) 文の構成、 5) 時制、 6) 現在時、 7) 過去時、 8) 未来時、 9) 再帰、 10) 助動詞、 11) 変化、 12) 関係節、 13) その他

【評価方法】 試験、レポート、授業出席率などから、総合的に判断。

【テキスト】 随時指示

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40506	心理言語学	選必	春学期	2	3・4	村杉 恵子	
他の科目との関連	「言語研究の基礎」などを既習し、言語学の基本的知識があることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 心理言語学の三つの主要な分野である、言語獲得、文(章)理解、産出の諸問題について考察する。他の分野（統語論、音韻論、意味論、形態論、神経言語学、人工知能研究）との関連についても言及する。

【講義計画】 春学期は、まず、認知と言語との関連について、「言語習得」と「言語障害」の視点から、言語のモジュールの独立性について考察する。其の上で、心理言語学の主要な柱である文法獲得、文(章)理解、産出の諸問題について、重要な論文を概説する。

【評価方法】 各学生の興味に応じ、言語に関する研究題材を選び、(1) 先行研究を調査し、(2) 仮説をたて、(3) データを採集、整理し、(4) 文法理解の枠組みで分析し、(5) 論文としてまとめて提出する。

【テキスト】 授業時に指定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40511	外国語教育論	選必	秋学期	2	3・4	松永 隆
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 外国語教育は応用言語学の分野に位置づけられるが、この分野に密接に関わる言語習得理論を概観し、コミュニケーション能力の開発という観点から、理論と実践の両面において理解を深めることを目的とする。言語習得理論は、母語の役割と学習者要因に関係するものを取り上げ、リサーチの企画、データ収集・分析など、実証的研究へのヒントも示したい。

【講義計画】 これまで提案されてきた外国語教授法を概観しながら、それぞれの教授法の背景にある第2言語習得理論と教育原理を考察する。また、教育とは切り離すことができない外国語運用能力の評価のあり方についても学んでいく。講義形態として、担当者の一方的な講義に終始するのではなく、ビデオを活用した外国語授業観察とディスカッション、学生による外国語授業のデモンストレーションも積極的に取り入れている。次の教授法を考察の対象にする：

1. The grammar translation method
2. The direct method
3. The audio-lingual method
4. Community language learning
5. The total physical response
6. Suggestopedia
7. The silent way
8. The communicative approach
9. Cooperative language learning
10. Task-based language teaching

【評価方法】 隔週実施する小テスト、中間・期末テスト(小レポートの可能性もあり)、出席を総合的に評価する。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリントを使用する。参考文献は松永のウェブページで提示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40516	第二言語習得論	選必	秋学期	2	3・4	松永 隆
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 第二言語習得理論への理解を深め、より効果的な言語習得を目指すための方法を模索することを目的とする。理論言語学、心理言語学、社会言語学など、複数の分野にまたがる第二言語習得理論を概観する。特に、第二言語習得のプロセスと到達度、習得・学習環境に焦点を当て、受講者の体験的な学習を導入しながら、習得理論への理解を深めるよう配慮する。

【講義計画】 第二言語習得研究の全体像を理解してもらうことが主目的である。第二言語学習者としての体験、自分がこれまで受けた授業などを振り返り、積極的に講義、ディスカッションに参加してもらいたい。具体的な学習項目は次のとおりである：

1. First and second language acquisition

2. A survey of second language acquisition theories
3. Individual differences in second language acquisition
4. Learner language
5. Interactions in the language classroom
6. Implications for teaching

【評価方法】 隔週実施する小テスト、中間・期末テスト（小レポートの可能性あり）、出席を総合的に評価する。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Lightbown, P.M., & Spada, N. (1999). *How languages are learned*. (Revised Ed.) Oxford University Press.  
参考文献は松永のウェブページで提示する：  
<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~matunaga/nuts/archives/archive.html>

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40521	異文化コミュニケーション論	選必	春学期	2	3・4	近藤 祐一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文化背景が異なる人々がコミュニケーションをするとどのような現象が起き、問題となるのかをコミュニケーション理論を基に考察していく。単なる言葉の行き違いだけでなく、価値観、非言語メッセージが引き起こす問題をも含め、また留学生の異文化適応問題やその対処方法についても論じる。

【講義計画】 授業は、それぞれのトピックについての講義とそれについてのグループプロジェクトからなる。トピックについては、2回の講義が行われ、そのトピックについてプロジェクトを行い、それを提出する。扱うトピックは以下の通り。

- I 異文化コミュニケーションの見方とは  
歴史的背景、応用分野
- II 価値観と異文化コミュニケーション  
文化がどう我々の思考方法に影響を与えているのか
- III 言語と異文化コミュニケーション  
言語の違いがコミュニケーションに果たす役割  
翻訳・通訳の役割
- IV 非言語と異文化コミュニケーション  
気付かないセクハラ
- V 共文化と異文化コミュニケーション  
オトコとオンナ  
世代間のコミュニケーション
- VI 異文化適応  
異文化コミュニケーション能力
- VII 国際コミュニケーション  
国際放送競争

【評価方法】 評価は、4回のグループプロジェクトレポート（80%）、および期末試験（20%）による。

【テキスト】 Condon & Yousef. *An Introduction to Intercultural Communication*. 金星堂 他

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40526	文学理論 1	選必	春学期	2	3・4	武田 悠一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文学研究の基本的な営みである「読む」という行為を理論的に理解すると同時に、個々のテキストをより良く読むための方法論を身につけることを目指す。新批評から脱構築批評、精神分析批評、フェミニズム

ム批評、ジェンダー批評、ポストコロニアル批評に至る、文学批評理論を紹介・解説しながら、文学研究の新たな可能性を探る。

【講義計画】 最近の文学理論の特徴として、その「文化論的転回」があげられる。文学を特権的な領域として囲い込むのではなく、他の文化領域と関連づけて捉え、文学研究をより広い文化研究に向けて開いていこうとする傾向である。こうした傾向をふまえて、主として1970年代以降の英米の文学批評の理論と実践を、具体的な例にそくして、できるだけわかりやすく解説する。文学作品だけではなく、映画や大衆文化も取り上げて、現在のマス・メディアや映像文化が、文学とどのようにかかわっているのかを考える。

【評価方法】 学期末試験の成績によって評価する。

【テキスト】 プリント（参考文献は授業の中で紹介する）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40527	文学理論 2	選必	春学期	2	3・4	丸岡 高弘	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文学研究の基本的な営みである「読む」という行為を理論的に理解すると同時に、個々のテキストをより良く読むための方法論を身につけることを目指す。新批評から脱構築批評、精神分析批評、フェミニズム批評、ジェンダー批評、ポストコロニアル批評に至る、文学批評理論を紹介・解説しながら、文学研究の新たな可能性を探る。

【講義計画】 本年度は物語論（ナラトロジー）を扱う。言語に文法があるように、物語の進行にも文法的な構造がある。こうした前提にたつ物語論をプロップ、バルト、ジュネット、トドロフなどの理論を紹介するとともに、そうした理論にもとづいた物語分析を実践的に学習する。

【評価方法】 授業への積極的な参加と期末の筆記試験

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40531	文学と社会 1	選必	秋学期	2	3・4	佐竹 謙一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文学にあたる社会の影響、社会における文学の状況など、さまざまな文化における文学と社会の関係についての理解を深めるために、作家の社会的環境、作品における社会の描写、読者による作品の受容、歴史的状況と文学生産の相関性などについて、関連する思想と理論を参照しながら講義する。（詳細については授業中に指示する。）

【評価方法】 授業出席およびレポート（または定期試験）。

【テキスト】 授業中に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40532	文学と社会2	選必	秋学期	2	3・4	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 フランス文学とパリ

【講義内容】 文学にあたる社会の影響、社会における文学の状況など、さまざまな文化における文学と社会の関係についての理解を深めるために、作家の社会的環境、作品における社会の描写、読者による作品の受容、歴史的状況と文学生産の相関性などについて、関連する思想と理論を参照しながら講義する。

今回は、19世紀フランス文学におけるパリのイメージについて論じたい。フランス大革命後、パリは多くの問題を抱えながら膨張を続けるが、やがて、世紀半ば大改造がはじまり、近代都市として変貌してゆく。こうしたパリの姿がフランス文学のなかにどのように反映しているか、バルザック、スタンダール、ユゴー、フローベール、ボードレール、ゾラなどの作品を眺めながらパリ案内を兼ねて検証したい。

【講義計画】 スタンダール『赤と黒』、バルザック『ゴリオ爺さん』、ユゴー『レ・ミゼラブル』、フローベール『感情教育』、ボードレールの作品、ゾラ『居酒屋』『制作』など順次、対象とする。進行予定表は開始時に配布する。講義資料はすべて日本語のみとする。

【評価方法】 試験（またはレポート）、授業参加度、出席状況など総合的に評価する。

【テキスト】 プリント資料（日本語）配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40536	比較文化論 1	選必	春学期	2	3・4	木下 登	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 スペイン文化の特質は、総じて、多民族・多宗教を背景とした歴史の中で培われてきた。その発露を主として思想と芸術の中に求めた後で、スペイン文化と対照をなす我が国の文化と比較する。

【講義計画】

1. スペイン文化の特質
2. スペインの民族と宗教と思想
3. プラド美術館の収蔵作品  
エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤ、ピカソ
4. スペインの建造物
5. 日本文化の特質
6. スペイン文化と日本文化

【評価方法】 筆記試験に出席等を加味して評価する。

【テキスト】 授業中に指示

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40537	比較文化論 2	選必	秋学期	2	3・4	ZAGORSKY Alexei	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文化の学問的な概念を導入して、文化の自発的発展・変質の原則を説明する。異文化の接触の際に文化対抗、変容の形体を考察する。理論の基礎知識を導入した上で、歴史的過程を擬態的な諸例（19世紀の日本刀動きの西洋受用およびアメリカによる日本と韓国占領）で検討する。最後にS.ハンチントンの文明衝突

論の文明研究の側面を考察する。

- 【講義計画】
1. 文化、文明とは何であろうか
  2. 文化の構成、文化の変質
  3. 異文化の接触、異文化の受用
  4. 例1：19世紀に置ける中国と日本の西洋受用と近代の比較
  5. 例2：20世紀40年代におけるアメリカによる日本と韓国の占領結果
  6. 文明衝突論

【評価方法】 テスト

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40541	第三世界論	選必	春学期	2	3・4	遅野井 茂雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 第三世界の開発をめぐる諸問題を、国際システム、開発と政治体制を中心に概説する。近代化論、低開発論、新古典派論など開発論の系譜を、非同盟運動や南北問題の登場といった戦後国際政治の流れの中で把握し、第三世界の多様化、ポスト冷戦期における第三世界の変容を検討する。併せて「開発独裁」など開発と政治体制のあり方や民主化との関係を、ラテンアメリカとアジアの比較から考える。

- 【講義計画】
1. 第三世界とは
    - ・ 非同盟運動から南北問題
    - ・ ポスト冷戦とグローバル化
  2. 開発論の系譜
    - ・ 近代化論から低開発論
    - ・ 「東アジアの奇跡」からアジア危機
  3. 多民族国民国家の行方
  4. 革命と改革
  5. 軍と政治、開発独裁
  6. 宗教と政治、解放の神学
  7. 都市化の政治学
  8. 国家と開発
  9. 工業化方式
  10. 民主主義と経済発展
  11. 地域統合と第三世界、反グローバリズム運動

【評価方法】 期末試験と授業参加度による。

【テキスト】 特に指定しない。参考書は授業中に紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40546	南北アメリカ論	選必	秋学期	2	3・4	岩野 一郎 富野 幹雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 (概要) 英米学科とスペイン・ラテンアメリカ学科の関心領域において、地域的に共通であるのは、西半球、つまり南北アメリカである。この南北アメリカ論においては、アングロ・アメリカ、つまり北米とラテン・アメリカ、つまり中南米の両地域を対比させ、協力と競合の関係を主として社会科学的な視点から考察しようとするものである。

(オムニバス方式)

(岩野一郎教授) いわゆる「新世界」である西半球には、アングロ・サクソン系の国々と、スペイン・ポルトガル系の国々という二つの異なった文化圏を構成する国々が存在している点を踏まえ、両者の相違を両文化圏を構成する人々の成り立ちから考察する。いずれの文化圏も移民による国家形成を行なったのであ

るが、主たる事例をアメリカ合衆国の移民と人種間関係の歴史に求め、これらを考察することによって、南北アメリカの文化の相違を多文化主義の文脈の中で眺めようとするものである。  
 (富野幹雄教授) ラテンアメリカにとってアメリカ合衆国は、ヨーロッパ人の植民・征服によって形成された同じ「新世界」を共有する存在であるとともに、北方の巨人でもあった。その関係は愛憎に満ちたものであり、南北問題や地域協力(西半球共同体)といった国際関係を見る重要な資格を提示している。また近年のグローバル化の進展は、一体化した市場経済圏の広がりのみならず、人の移動(ヒスパニック人口の急増)や英語メディアの普及を通じて、双方の社会・文化にも影響を与えている。文化を異にする両地域の関係のダイナミズムを多面的に考察し、世界におけるアメリカ地域の将来を展望するものである。  
 本年は、特に日系移住者がアメリカ合衆国とブラジルにおいてどのような貢献をなしたか、また彼らがどのような社会的地位を占めてきているかなどについてお話しする予定である。すなわち南北アメリカに入った日本人という異質分子を通じて、その社会・文化を考察することを目指している。

【評価方法】 学期末の筆記試験あるいはレポート提出。

【テキスト】 特に指定しないが、参考文献は授業時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40551	国際関係論 1	選必	秋学期	2	3・4	藤本 博	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 現代における国際関係の構造と動態について考察する。講義では、第一に、軍縮問題や民族紛争に象徴される「戦争と平和」をめぐる諸問題、第二に、飢餓・貧困、人口・食糧問題、地球環境問題などの「地球的問題群」、そして第三に国際協力・国際交流ならびに「内なる国際化」をめぐる諸問題を取りあげてみたい。また、随時、時事解説を行う。

【講義計画】 以下の内容に即して講義を進める  
 1. 国際関係の歴史  
 2. 冷戦の遺産と教訓  
 3. 冷戦終焉と地域紛争の現状  
 4. 冷戦の終焉と南北格差の現状  
 5. 地球市民社会の形成と現代の国際関係

【評価方法】 随時課すレポートと学期末に行う試験。

【テキスト】 草間秀三郎・藤本博共編『21世紀国際関係論』(南窓社、2000年)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40552	国際関係論 2	選必	秋学期	2	3・4	ZAGORSKY Alexei	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 現代における国際関係の構造と動態について考察する。講義では、第一に、軍縮問題や民族紛争に象徴される「戦争と平和」をめぐる諸問題、第二に、飢餓・貧困、人口・食糧問題、地球環境問題などの「地球的問題群」、そして第三に国際協力・国際交流ならびに「内なる国際化」をめぐる諸問題を取りあげてみたい。また、随時、時事解説を行う。

【講義計画】  
 1. 国際関係論とは何であろうか  
 2. ウェストファリアシステムと国家主権の概念の変容  
 3. 国際関係論における諸学派  
 4. 国力とパワー  
 5. 政策決定の諸理論  
 6. バーゲニングと外交  
 7. 政治・経済力  
 8. 軍事力

9. 安全保障の諸形態
10. グロバリゼーション
11. 文明衝突論と国際関係

【評価方法】 テスト

【テキスト】 西川吉光著、『現代国際関係論』、晃洋書房、2001年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40556	国際経済学	選必	春学期	2	3・4	西村 貞雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 貿易と通商政策、あるいは国際収支や国際通貨にかんする問題を、その歴史的な発展に触れながら理論的な意味を説明する。議論の焦点は現代の国際経済問題におき、経済学的な視点から問題を論理的に把握できるようにする。

【講義計画】 講義は以下のような内容になる予定。

1. 比較優位と自由貿易
2. 現代の貿易と新しい貿易理論
3. 貿易政策
4. 国際収支と為替レート
5. 戦後の国際金融の諸問題

【評価方法】 定期試験の成績による。

【テキスト】 テキストは使用せずプリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
40561	開発経済学	選必	秋学期	2	3・4	安原 毅	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 スペイン語圏を中心とするラテンアメリカ各国における、工業化、インフレ、貧困といった問題について解説する。特に理論的フレームワークに重点を置く。また予備必修科目は特に指定しないが、受講生は経済学の基礎的な科目（担当教官は不問）を受講していることが望ましい。

特に理論面については、新古典派経済学とその他の経済学とを対比しつつ解説し、一つの問題について様々の視点から観ることを試みたい。もちろん同様の理論はアジア諸国でも有名なものなので、アジア地域との比較も可能なかぎりとり入れる。

【講義計画】

1. 経済成長における貯蓄と投資
  - i. 国民所得決定における貯蓄、投資、経常収支
  - ii. 貯蓄と投資の関係性、構造的異質性論
  - iii. 人為的低金利と金融自由化論
2. 生産関数と産業構成
  - i. コブ=ダグラス型生産関数
  - ii. ルイス・モデル
  - iii. 2部門モデル：資本蓄積と産業構成変化
3. 貿易と外国資本
  - i. 国際収支勘定
  - ii. 比較生産費説と中心一周辺モデル
  - iii. 対外債務、国外貯蓄の意味
  - iv. 対外不均衡モデル

【評価方法】 筆記テストを行う

【テキスト】 コピーを配布する

【その他】 副読本、石黒馨編 「ラテンアメリカ経済の構図」 (世界思想社)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40566	比較社会論	選必	秋学期	2	3・4	藤本 哲史
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 この授業では交叉文化研究 (cross-cultural research) に用いられるいくつかの理論的モデルの有効性や限界、また、社会システムの形成や受容に果たす人々の価値意識の役割などを検討する。西欧社会と日本で異なるといわれる社会的特徴、たとえば個人主義と集団主義、企業組織風土と労働者意識、性に関する寛容性や結婚価値観などを取り上げ、それらに見られる社会間格差が果して漠然とした文化的傾向の違いによるものなのか、あるいは教育、産業、マスコミなどによってシステムティックに形成された偽意識の内容の相違なのかを、複数の競合理論を参考に検証する。

【講義計画】

- (1) 社会とは？ 社会を比較するということ
- (2) 比較と社会学理論
- (3) 「格差」の社会的構築について
- (4) False Consciousnessとは
- (5) 社会的構築の実際1：『Noと言える日本』を考える
- (6) 社会的構築の実際2：『タテ社会の人間関係』を考える
- (7) 比較1：価値観と社会規範
- (8) 比較2：性役割とジェンダー
- (9) 比較3：大学教育
- (10) 比較4：雇用労働と家族政策
- (11) 同質性と異質性の源泉

【評価方法】 期末試験 100%

【テキスト】 指定テキストなし。 授業内で配布する資料を中心に行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
40571	国際企業論	選必	春学期	2	3・4	BREMER Marc
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 International Financial Management (国際企業論)

【講義内容】 This deals with international financial markets and with the international dimensions of corporate financial management. The fundamental issue is how businesses deal with exchange rate movements. Lectures, exams and assignments will be in English. Japanese students may write exam answers and homework assignments in Japanese.

【講義計画】

Cash and Spot Exchange Markets  
 Forwards, Futures and Options  
 Exchange Rate Determination  
 Hedging

【評価方法】 Attendance/Class Participation 10%; Homework 20%; Midterm Exam 20%; and, Final Exam 50%

【テキスト】 David Eiteman, Arthur Stonehill, and Michael Moffett, *Multinational Business Finance*, Addison-Wesley  
 Maurice D. Levi, *International Finance*, McGraw Hill  
 Ian Giddy, *Global Financial Markets*, Houghton Mifflin.

外 国 語 学 部  
英 米 学 科

外国語学部

(2000生以降)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41101 41106	アメリカの文化Ⅰ・Ⅱ	必	春学期 秋学期	各2	1	藤本 哲史 他
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 この授業はアメリカ研究の導入的役割を果たすもので、多角的にアメリカを眺めることにより、その全体像をつかむことを目的としている。特に、アメリカという国の地理的特色、国家的ダイナミズムを生み出す政治システム、歴史的発展過程における特徴と国家形成の要因、また現代アメリカ社会が抱える社会問題など、いくつかの角度からアプローチすることにより、アメリカ合衆国に関する総合的理解を深めることを主な目的とする。講義は、3人の教員がそれぞれ4回づつ担当するチームティーチングによって行われる。

【講義計画】 春学期・秋学期を通して、アメリカという国の骨組みについて理解が深まるように講義は進められていく。具体的に、次の順序で講義は進行する。春・秋学期とも、下記の各担当者が4回づつ講義を受け持つ。  
 《春学期》  
 (1)アメリカの歴史（川島止樹）  
 (2)アメリカの政治（藤本 博）  
 (3)アメリカの社会問題（藤本哲史）  
 《秋学期》  
 (1)アメリカの外交（宮川佳三）  
 (2)アメリカの経済（西村貞雄）  
 (3)アメリカの宗教（リチャード・ジップル）

【評価方法】 期末試験100% 3人の担当者がそれぞれ出題し、3人の試験の合計点で評価する。試験時間は60分。

【テキスト】 各担当者が必要に応じて配布資料を用いて講義を行う予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41111 ） 41117	Writing in English I	必	春学期	2	1	玉崎 孫治 佐々木 剛志 松 永 隆 日野水 憲 橋本 惠 鈴木 達也 堀 部 充
他の科目との関連						履修対象学科不可

【講義内容】 週2回の授業で、英語を書く能力の向上をはかる。パラグラフの概念を学び、英語で統一性と一貫性のあるパラグラフが書けるように訓練する。また、英語論文に多く使用される重要表現についても学び、それらが使えるようにする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41121 } 41127	Writing in English II	必	秋学期	2	1	玉崎 孫治 佐々木 剛志 松 永 隆 日野水 憲 橋本 惠 鈴木 達也 堀 部 充
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【講義内容】 Writing in English I に引き続き、英語を書く能力の向上をはかる。英語でより長いパラグラフが書けるように訓練する。また、英語表現での正確さをさらに向上させる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41131 } 41134	English Workshop I	必	春学期	1	1	WRINGER Sarah DEACON Brad CROKER Robert A. MOLOTSI Prisca
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 この授業は通常二人の英語を話す教員によって行われる。たとえ教師が英語を母語としない場合でもクラスに関する限りは英語で行われる。一人が六週間続けて授業を持つ。取り上げる内容はそれぞれ異なる。英語の道具としての側面を強調するクラスなので、内容に重きを置く。教師は色々な講義の形態を持ち、学生も受け身ではなく積極的に取り上げられる題材に関わっていく。取り上げられた題材を通して、英語を道具として使っていくことを強調するクラスである。従って、英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶことになる。この形式は多くの学生にとって初めての経験になるので、しかるべきオリエンテーションも行われ、英語を自然に修得していくこととなる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41141 } 41144	English Workshop II	必	秋学期	1	1	CROKER Robert A. MOLOTSI Prisca WRINGER Sarah DEACON Brad
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 Workshop I と同じように二人の教師が担当する。使われる言語が英語のみなのも同様である。この授業ではWorkshop I で学んだことを深化させていくこととなる。直接的な英語の言語修得的面からは一段と離れていくこととなる。ただ、英語を修得していることは気が付かないうちに、そのレベルはあがっていく。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41201 } 41207	Writing in English III	必	春学期	1	2	WRIGHT Mark QUINN Kelly WELKER James R. RUSH Philip BEARDWELL Julia CROKER Robert A. HAYNES Louise
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【講義内容】 ネイティブ・スピーカーの教員が担当し、英語を書く訓練をさらに行う。英語で短いエッセイが書けるようにする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41211 } 41217	Writing in English IV	必	秋学期	1	2	WRIGHT Mark QUINN Kelly WELKER James R. RUSH Philip BEARDWELL Julia CROKER Robert A. HAYNES Louise
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【講義内容】 Writing in English IIIに引き続き、英語を書く訓練をさらに行う。英語でエッセイが書けるようにする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41221 } 41224	English Workshop III	必	春学期	1	2	CULLEN Brian BEARDWELL Julia YASUDA Karen PURCELL William
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 Workshop IIの続きであって、形式の点では同じであるが、内容に重きを置くためにその内容に相応しい語、場合によっては構文を学ぶこととなる。クラスの形式としては、内容に重きを置くために、その内容についての知識を英語を通して得ることとなる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41231 ) 41234	English Workshop IV	必	秋学期	1	2	BEARDWELL Julia PURCELL William CULLEN Brian YASUDA Karen	
他の科目 との関連						他学科 履修	不可

【講義内容】 Workshop IIIの続きであって、形式の点では全く同じであるが、「言語としての英語」の修得からはかなり離れ、「英語を通しての」知識の獲得、そして発表に重点が置かれる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41241 ) 41248	Communication in English I	必	春学期	3	2	WORDELL Charles CROKER Robert A. WELKER James R. PURCELL William	
他の科目 との関連						他学科 履修	不可

【講義内容】 The goals of Communication in English are to continue the progress made in Oral Communication classes toward active use of English, positive learning attitudes, learning to learn, and fluency in interpersonal communications, as well as to expand the students' capabilities toward more transactional language use.

【講義計画】 Communication in English will reinforce Oral Communication learning through recycling first-year activities as well as having students give presentations and speeches in small and large groups, practice negotiation and persuasion skills, as well as seminar-style questioning and discussion. Students will work both with textbooks and other materials distributed by the teacher, and with audio and video tapes in the classroom.

Language Lab (LL): In each 90-minute Communication in English class, 45 minutes will be spent in the language laboratory with the emphasis on various aspects of listening comprehension, note-taking, and pronunciation using commercially prepared listening and video courses as well as actual television broadcasts and movies. Tests, homework, and attendance in the LL are combined with results in the Communication section to determine the course grade.

【評価方法】 Because Communication in English is an active course, attendance is extremely important. Students' participation and preparation are evaluated informally in every class. Regular language laboratory tests are given throughout the year. Individual instructors give tests based upon their texts, handouts, and activities. Students are given grades based upon their attendance, participation, amount of work done, and progress made. They are also asked to make self-evaluations and to give feedback on the course to the teachers. Homework and preparation are required and students can expect to spend about three hours outside of class for homework per week.

【テキスト】 *Impact Topics*, Richard Day & Junko Yamanaka, Longman  
*Impact Issues*, Richard Day & Junko Yamanaka, Longman

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41256 ) 41263	Communication in English II	必	秋学期	3	2	WORDELL Charles CROKER Robert A. WELKER James R. PURCELL William	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 これまで身につけた伝達能力のレベルを一層高めるべく、更なる伝達技能の錬成を心がける。Language Labにおける英語の技能訓練に加えて、クラスでもいろいろな英語文化の場における言語的習慣に慣れさせ、個人ならびにグループでの積極的な発表訓練を通じて、英語による伝達に自信をつけさせることを目指す。

【講義計画】 Communication in English I に準じる。

【評価方法】 同上。

【テキスト】 Communication in English I と同じ。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41271 ) 41275	Reading in English I	必	春学期	1	2	村 杉 恵子 松 岡 光治 佐々木 剛志 宮川 佳三 小 宮 富子	
他の科目との関連						履修対象学科	不可

【講義内容】 1年生のSRA3aに引き続き、SRA3bを使用して、速読の訓練を続けていく。この科目は、3・4年次で専門文献を読むための英文読解力を養成しようとするものである。使用テキストは担当者により多種多様であるが、単なる英文和訳でなく、言語事実に基づいて内容を正確に把握することが共通の狙いである。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41281 ) 41285	Reading in English II	必	秋学期	1	2	藤 本 博 西 村 貞雄 岩 野 一郎 小 宮 富子 川 島 正樹	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 多様な英文文献の受容力を広げるために、それぞれ教員がジャンルの異なるテキストを用いて文献の読み方を訓練する。3年次の専門分化に向けて専門的文献を読み込み、深く理解していくための能力を獲得する準備となる科目である。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41301	演習 I	必	通年	4	3	有元 将剛	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 言語研究の諸相

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 英語と日本語は（あるいはどの言語も）お互いに無限に異なっているのではなく、英語も日本語も（あるいはどの言語も）人間言語の1つとして人間言語として共通な部分（普遍文法に属する部分）を持っている。本演習では英語と日本語およびその他の言語を手がかりに人間言語の普遍性を探り、また、英語、日本語（あるいは他の言語）はどの点で異なっているか考える。各言語の一見複雑に見える現象の底に潜む、一般性、規則性を明らかにする。第二言語獲得、英語の歴史などにも触れる。

受講者の口頭発表、討論を中心に進める。適宜、レポートを課す。

【評価方法】 レポート、試験、授業への貢献度などを含め、総合的に判断する。

【テキスト】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41302	演習 I	必	通年	4	3	藤本 博	
他の科目との関連	「アメリカの外交」、「アメリカ外交特殊研究」、「国際関係論1」を履修することが望ましい					他学科履修	不可

【副題】 アメリカ合衆国と現代の国際関係ーアメリカにとっての「戦争と平和」

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 第二次世界大戦後の国際関係における主要な戦争を素材に、国際秩序形成に主導的役割を果たしてきたアメリカにとって「戦争」とは、「平和」とは、を考えます。具体的には、①朝鮮戦争、②ヴェトナム戦争、③湾岸戦争、④ユーゴスラビア空爆、⑤先日から開始された「テロリズムに対抗するアメリカの『新しい戦争』」について検討します。

今回の軍事報復作戦の是非に関する議論の中で、アメリカ外交政策の遺産と現状がテロリズムの温床になっているとの指摘があります。このような指摘を念頭に、現状だけに目を奪われるのではなく、いま一度、歴史に立ちかえり、第二次世界大戦後における「現代戦争」とアメリカとの関わりを考察しながら、現代における「戦争と平和」の諸問題について深めたいと思います。

毎年12月初旬に開催される「名古屋国際関係合同ゼミナール」（名古屋地区における各大学の国際関係に関するゼミの合同研究発表会。名古屋国際センターにて開催）に参加します。

・《春学期》ーアメリカ外交の基礎知識を習得しながら、上記の各戦争について、①戦争の性格とアメリカの役割、②戦争が国際政治およびアメリカ社会の容容に与えた影響を検討します。

・《秋学期》ー上記の合同ゼミナールに向けた報告準備が中心です。

【評価方法】 出席重視。演習への積極的姿勢が重要となります。

【テキスト】 未定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41303	演習 I	必	通年	4	3	藤本 哲史	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 社会学的レンズを通して見る現代社会

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 《春学期：基礎》  
 (1) 社会学とは：社会学的想像力、事実の裏側にある「事実」を探ることの大切さ、社会学と概念の関係  
 (2) ミクロ社会学、マクロ社会学、Macro-Micro Linkages  
 (3) 社会学の調査研究方法と研究過程の段取り  
 (4) 社会的相互行為と日常生活  
 (5) 結婚と家族  
 (6) 逸脱と犯罪  
 (7) ジェンダーとセクシュアリティ  
 (8) マスメディアとポピュラー・カルチャー  
 (9) 社会成層と階級構造  
 これらのトピックに関して、身近な例を参考に討論する。

《秋学期：応用～グループ・プロジェクト》  
 ・調査のテーマ設定（問題意識の整理、因果モデルと仮説の設定）  
 ・基礎的な統計分析ツールの使い方、質問票の検討および作成、プレテスト、本調査の実施  
 ・データ分析の練習、データ入力と数量解析、結果の分析と検討、まとめとプレゼンテーション

【評価方法】 1 レポート（受講生本人の興味に沿った内容の期末レポート） 40%  
 2 毎回のゼミでの発表や討論参加に対する積極性 30%  
 3 出席 30%

【テキスト】 さまざまな本からの抜粋を、リーディング・アサインメントとして用いる予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41304	演習 I	必	通年	4	3	橋本 恵	
他の科目との関連	イギリス文学史Ⅰ、イギリス文学史Ⅱの同時履修が望ましい。					他学科履修	不可

【副題】 イギリス——文学と文化

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 文学作品を文化と関連させて読む。そのために、テキストとして作品を読むと同時に、歴史的・社会的・文化的背景を学ぶ。これを演習の基本的姿勢として、二十世紀および今日の英米小説の代表的作品を読み、文学と文化について考えることがこの演習の内容であり目的である。  
 2002年度は、テキストとしてイギリスの伝統と現代の様相を鮮やかに描いたKazuo Ishiguroの小説を取り上げる。Kazuo Ishiguroは日本で生まれ、イギリスで教育を受け生活し、イギリスに帰化した、現在最も注目されている英国小説家の一人である。  
 春学期では、テキストである小説について担当のグループが報告し、それに基づいてゼミ全体の討論を行い、さらにまとめとして担当教員が講義するという形式をとる。さらに秋学期では、いかに作品を読み、分析するかという方法を学ぶために、小説について書かれた論文や研究書をグループごとに分担して調べ

外国語学部  
(2000生以降)

る。  
これらのプロセスを経て、四年生のResearch Paperにおける各自の研究に役立てられるように指導する。

【評価方法】 レポートと授業への貢献度によって評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41305	演習 I	必	通年	4	3	日野水 憲	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 英語の語構成における流入語の影響について

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通じて各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 現代の英語の「語」の成り立ちを、歴史的背景から捉えるようにする。そのために、英語に流入した諸言語の影響についてみ、そこから、現代の英語の「語構成」について考える。  
発表者は、テキストで取り上げられている問題を紹介し、何が問題なのか、どのような分析がなされているのか、などを報告する。それをもとに、全員で検討する。そして、教員がまとめるとなる講義を行う、という形式をとる。  
理解を深めるための資料などを適時紹介して、その資料をも論議の一部とする。

【評価方法】 レポートとゼミへの貢献度を総合的に評価する。

【テキスト】 Stockwell, R. And D. Minkova (2001): *English Words: History and Structure*. Cambridge: Cambridge University Pressを予定しているが、Carstairs-McCarthy, A. (2001): *An Introduction to English Morphology: Words and their structure* (Polygon Press)の出版が間に合えばこれを使う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41306	演習 I	必	通年	4	3	川島 正樹	
他の科目との関連	「歴史研究の基礎 (アメリカ)」を履修しておくことが望ましい					他学科履修	不可

【副題】 アメリカ合衆国史研究

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通じて各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 この授業は「歴史」に焦点を当てた、アメリカ研究のゼミです。植民地時代から現代までのアメリカ合衆国の歴史を全体的に学ぶことを目指します。テキストに沿って、報告形式で毎回数人ずつに授業を担当してもらいます。担当者はテキストをもとに、当てられた部分の内容に関して要約や教科書以外の文献等で調べたことを発表します。もちろん他の受講生もテキストなどで予習をするものとします。担当者は単に調べたことを報告するだけでなく、一般受講生にどしどし質問をして討論を展開する責任も負います。適切な質問ができるようになることを当面の目標とします。もちろん他の受講生は応答する義務を負います(報告者のみならず他の受講生の発言数と内容も平常点にカウントされます)。

【評価方法】 平常点(当番制の報告や質疑応答その他、授業への貢献、50%)、および春学期・秋学期各1部ずつ提出されるレポート(自分の研究テーマに即した研究レポート、50%)。

【テキスト】 Mary Beth Norton, et al., *A People and a Nation: A History of the United States* (Boston and New York:

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41307	演習 I	必	通年	4	3	近藤 祐一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 春学期  
異文化コミュニケーションをどう学ぶか  
基本的な社会科学のモデルを学ぶ  
「社会科学的」とよばれる調査法を学ぶ  
統計の初歩を学ぶ  
異文化の見方・異文化コミュニケーションの基礎的な理論  
他のコミュニケーション関連科目の授業と併せて理論を学ぶ  
秋学期  
外国人留学生別科との合同授業（予定）  
毎週決められたトピック（教育、家族、差別、性、豊かさ、南北問題等）について討議を行う  
合同授業の最後には振り返りの討論を行う

【評価方法】 討議への参加、ジャーナル提出、期末レポートにより評価する。

【テキスト】 Condon & Yousef. (1975) An Introduction to Intercultural Communication. Bobbs-Merril: Indianapolis.  
Samover & Porter. (1997) Intercultural Communication: A Reader (8th ed.). Wadsworth: Belmont, CA.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41308	演習 I	必	通年	4	3	松永 隆	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 第2言語習得と英語教育

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 このゼミでは、応用言語学の1つの大きな分野である第2言語習得をテーマとする。外国語・第2言語習得のプロセスはどの様なものであるか？ 母語の習得との違いはどこにあるか？ 習得に影響を及ぼす要因には何があるのか？ Successful learnersとUnsuccessful learnersにはどの様な違いがあるのか？（学習方法、学習開始時期、学習スタイル、学習環境など）この様な疑問を、特に英語の習得に関連する研究を中心に勉強しながら、いっしょに考えていこうと思う。  
習得プロセスや習得状況の違いについて、心理言語学、社会言語学、神経言語学の3領域から提案されている理論の特徴と制約を比較、検討し、語学学習に対してどの様な具体的提案ができるかを考えたい。特に強調したいのはTOEFLなどのテストの結果にみられる表面的な習得結果ではなく、そこに至までに経ている学習・習得の過程（process）である。

（取り上げることになると思われる項目、具体的にはゼミ生と相談しながら進めます）

- \* 中間言語研究（習得順序、母語の役割、など）
- \* 言語の習得環境（インプットの重要性）
- \* 第2言語学習者の個人差（年齢、個性、動機、認知スタイル、ストラテジーなど）

- \*第2言語の習得理論 (UG理論、モニター仮説など)
- \*教室での外国語学習と言語習得 (教授法・指導技術の習得への影響: 習得順序、習得速度、習得レベル)
- \*第2言語習得研究方法論
- \*第2言語習得データ分析法
- \*学習ストラテジー
- \*コミュニケーション・ストラテジー

【評価方法】 詳細はゼミ生と相談のうえで決定します。

【テキスト】 Lightbown, P.M., & Spada, N. (1999). How languages are learned. Oxford: Oxford U.Press.

【その他】 Webで文献等を提示します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41309	演習 I	必	通年	4	3	MAYER David	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Ethnic Life in Literature: Irish Americans

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

Course Description: This seminar on Irish Americans presents a brief history of their immigration to America, basic Catholic beliefs, a contrast between the Irish and other Catholic immigrant groups, an outline of representative writers, and a detailed treatment of short stories by Cullinan, Farrell, Fitzgerald, and Powers before concentrating on Flannery O'Connor. O'Connor is known for her biting descriptions of people and places and wry conversations. She looks at life with tough love while she searches for its deeper meaning.

【講義計画】 Classroom Activities: In general a seminar is the chance for students to produce the results of their reading and reflection as they develop their critical abilities. The teacher will introduce the Irish Americans and Catholic background, but students in groups of two or three will take turns presenting the stories in class. They will list and comment on the characters, divide the plot into parts, explain difficult passages, and present their interpretation of the theme of the story for class discussion. The other members of the class read the story also, write three questions about the story, and write about the passage that impressed them the most. (The reading pace will be about one story or twenty-five pages in the novel per week.)

【評価方法】 Grades: Grades will be based on the quality of the story presentations (25%), written questions and impressions (30%), participation in the discussions (10%), attendance (15%), and final written examination or paper (20%). (Usually there is a written examination in the Spring Semester and a paper in the Fall Semester.)

【テキスト】 Mayer, David. *Drooping Sun, Coy Moon*. Yamaguchi Publishing House

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41310	演習 I	必	通年	4	3	宮川 佳三	
他の科目との関連	アメリカの外交、国際関係論の基礎 (日本とアメリカ)					他学科履修	不可

【副題】 「国際社会に於けるアメリカと日本」

【講義計画】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通し

て各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】

21世紀に入った国際社会に於ける日本の有り様を考えるための基礎作業が私のゼミナールの主たる目的であります。特に国際社会に於ける日本の貢献に期待が向けられている。国内に於いてそれに関する議論が活発に行われ始めている。議論の中に積極的な貢献へのためらいがあります。特にそうした貢献が日本の軍事的なそれへであることに、国の中においても国の外においても心配や警戒がある。一体どこに原因があるのだろうか？

この問に答えるためには、19世紀及20世紀の国際社会に於いて日本はどのような関係を対外的に持つようになったのかを知る必要があります。特に日本が国際社会に対してその扉を開けることになった事情を国際的な政治や経済の面から考えてみる必要があります。更に言えば、アメリカとの関係をぬきに日本と国際社会の関係を考えることはできません。

19世紀末から20世紀における日本の成長・発展を考える時に、アメリカを色々な点で意識したことを知ることは大事なことです。日本の対外行動はアメリカとの関係で行われたことがとても大きいと思います。特にアメリカと戦争をせざるを得なくなったことそしてその戦争に敗北したことは日本のアジア太平洋戦争後の日本の国際社会への関わり方を考える時にとても大きな意味を持っていると思われます。

このゼミナールではアメリカと日本の歴史を対外関係の面で理解するようにします。そうすることにより、21世紀の日本のあるべき対外行動を考えるヒントが得られるものと思います。

春日頃国際社会で起こっていることに敏感であって欲しいと思います。

春学期では「バックス・アメリカナの時代」に向かう18世紀・19世紀のアメリカの発展・成長を国際政治・経済の中で位置づける。建国期のワシントン、アダムズ、ジェファーソン大統領達の外交観、モンロー・ドクトリン、マニフェスト・デスティニー、門戸開放政策がいかなる国際関係の中で打ち出され、遂行されてきたかを考える。ヨーロッパに対する、アジアに対する、アフリカに対するアメリカの対外関係の発展を検討する。世紀転換期の国際政治・経済の中でアメリカがいかなる状態にあったかを考える。

秋学期では20世紀——「アメリカの世紀」——、つまり、米西戦争をきっかけにしたアメリカ帝国主義の台頭から第二次大戦・太平洋戦争の終わり、冷戦の開始と冷戦の展開、ベトナム戦争、脱冷戦へ至る戦後のアメリカ外交のダイナミズムを取り上げる。又こうした対外関係のアメリカ社会への影響、大統領と外交・国家安全保障政策決定・遂行の関係にも目を向ける。

アメリカ外交の展開と並行して、日本の対外関係を歴史的に考える。

アメリカの外交・日本の外交の歩みを歴史的にたどるが、同時に今日のアメリカ・日本の外交の動き、国際政治の動きについても問題意識を十分持って、毎時ゼミ生の間で議論してもらおう。

【評価方法】

論文の分担発表、クラスでの貢献、レポート、定期試験を総合的に評価する。

【テキスト】

アメリカの外交(史)及び日米関係の歴史を扱った英文論文。  
有賀貞也編『概説アメリカ外交史』(有斐閣)  
有賀貞也編『概説日米関係史』(有斐閣)

【その他】

参考図書  
Patterson他 *American Foreign Policy I* (Heath)  
アーネスト・メイ編『アメリカの外交』(東大出版会)  
大下尚一他編『史料が語るアメリカ』(有斐閣)  
Stephen E. Ambrose. *Rise to Globalism*.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41311	演習 I	必	通年	4	3	村杉 恵子	
他の科目との関連	「言語研究の基礎」などを既習。言語学の知識があることがそのぞましい。					他学科履修	不可

【副題】

文法の獲得

【講義内容】

英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】

人間言語の特性についての文法研究を行い、文法理論研究の基礎的な考え方についての理解を深める。特に、文法獲得の研究、失語症など言語障害、障害言語の産出・理解のメカニズムを中心として、人間が持つ文法能力の中身と、その発現の過程について、実証的理論的な考察をおこなう。題材としては、英語の文法現象を扱う。テキストに示された、個々の現象についての英語話者の文法獲得過程を、比較言語学的視点から捉え直し、普遍的な文法特性について考える。

【評価方法】 各学生の興味に応じ、言語に関する研究題材を選び、(1) 先行研究を調査し、(2) 仮説をたて、(3) データを採集、整理し、(4) 文法理論の枠組みで分析し、(5) 論文としてまとめて提出する。

【テキスト】 授業時に指定する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41312	演習 I	必	通年	4	3	西村 貞雄	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 アメリカ経済と市場のインセンティブ

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 アメリカの日常的な事柄を取り扱いながら、経済学的なものの見方を身に付けていくことを目的とする。経済学、とくにマイクロ経済学的な見方は、人々がインセンティブに反応して行動するとしてものごとを理解しようとする。たとえば学生諸君がどのように科目を履修していこうとするかといった身近な問題から、国際貿易はどうあるべきかといった大きな問題まで、常にそのような原則から観察しようとする。  
最初は、具体的に身近な問題を取り上げたテキストを用いながら、そのような経済学的な見方を議論していき、秋にはアメリカ経済のいくつかの(大きな)問題を取り上げて、そのような見方がどう適用されるのかを考えていきたい。

【評価方法】 授業で課レポートと発表に基づく。また授業への積極的参加を評価する。

【テキスト】 今のところ下記を考えている。  
デイビッド・フリードマン『日常生活を経済学する』日本経済新聞社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41313	演習 I	必	通年	4	3	岡部 朗一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 英語コミュニケーションにおける異文化レトリックの構図

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 演習 I では、アメリカの説得コミュニケーションを扱った教科書とプリントの講読を通して、コミュニケーションとしての英語コマーシャルにおける説得の概念を理論的に理解する。理論面の学習とともに、実際のコマーシャルを分析した結果を報告するグループ発表も数多く行う。  
夏休み期間に2泊3日の予定で行なう夏合宿では、さらにプリントを講読したり、コマーシャルを分析したグループ発表を行う。研究対象は、英語と日本語の新聞・雑誌、テレビの商品コマーシャル、企業の意見広告、アメリカの大統領選挙テレビコマーシャル、現代アメリカ政治スピーチ等を予定している。

【評価方法】 演習 I では各学期ごとに1回課せられる各10枚の英語でのresearch paper、クラスでの口頭グループ発表、それに定期試験の結果を考慮して、総合的に判定する。

【テキスト】 Gary C. Woodward and Robert E. Denton, Jr., *Persuasion and Influence in American Life*, 3rd ed. (Waveland Press, 1996)等の文献から抜粋されたプリント類。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41314	演習 I	必	通年	4	3	佐々木剛志	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 英語について知りたかったこと

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

副題にある様に、「英語」について持っていた疑問をもう一度思い起こし、それをひとつひとつ解決していく。

【講義計画】 クラスの半分くらいを疑問解決にあて、残りの半分くらいを教科書を使って、「文法」を学んでいく。

【評価方法】 クラスでの発表と学期末のペーパーを半分半分で評価

【テキスト】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41315	演習 I	必	通年	4	3	鈴木孝夫	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 シェイクスピア劇入門

【講義内容】 『ヴェニスの商人』は比較的初期の作品で、ロマンスあり、おとぎ話的要素ありの痛快な喜劇であるが、人種・信条の対立が悲劇の可能性をはらんでおり、シェイクスピアの対位法的劇作法を知るには絶好の作品である。具体的に言えば、この劇の主要人物の一人シャイロックをユダヤの高利貸しとして悪役と見るのが通俗的解釈であるが、原点にもどって作品を精読すると、シャイロックは単なる悪役ではなく、虐げられた少数民族の代表として悲劇的な崇高さを帯びてくる。

本ゼミは、この作品を精読し、(1)言葉（特に比喩表現）の暗示効果、(2)登場人物について本人や周囲の人物が述べる言葉と我々が受ける印象とのギャップ、(3)舞台空間の持つ効果（感覚的インパクトや象徴的意味）について徹底した分析を行い、シェイクスピアの〈複眼の思想〉に迫ろうとするもの。

【講義計画】 授業は一場面（scene）程度の分量を一区切りとし、約3名がグループ発表の形で作品分析を行うが、あらかじめ受講者全員に意見や疑問を記した簡単な（1頁程度の）レポートを提出させて討論の活性化とする。秋学期末には、締めくくりとして作品を論じた10頁程度の英文評論を日本語で要約するレポートの提出を求める。

【評価方法】 毎回（場面毎）のレポートと期末レポート（秋学期のみ）を中心とするが、グループ発表と討論における発言内容と積極性を加味して評価する。

【テキスト】 Jay L. Halio, ed., *The Merchant of Venice*, New Oxford Shakespeare (1993) と喜志哲雄編、*The Merchant of Venice*（大修館シェイクスピア双書, 1996）を併用。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41316	演習 I	必	通年	4	3	鈴木 達也	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 原理変数理論入門：統率束縛理論からミニマリストプログラムへ

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 本年度は、生成文法の基本的概念の理解を深めながら原理変数理論の初期理論にあたる統率束縛理論の研究を行なっていきます。数人ずつで分けられた各グループに対してテキストから特定のトピックを割り当てます。各グループは責任をもってそのトピックについて発表し、その後全員によるディスカッションを行います。その際、テキストに書かれている内容だけでなく、参考文献として挙げられている研究についても触れ、その一部については課題としてレポートを要求します。

【評価方法】 発表、ディスカッションへの参加、レポート等の成績を総合的に判断します。

【テキスト】 Liliane Haegeman & Jacqueline Guéron (1999) *English Grammar: A Generative Perspective* (Blackwell Textbooks in Linguistics)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41317	演習 I	必	通年	4	3	武田 悠一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 アメリカ小説研究

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

【講義計画】 この演習では、アメリカ文学を代表する作家Ernest Hemingwayの小説を読みながら、文学批評の基本的な方法を学ぶ。とくに、最近のフェミニズム・ジェンダー批評の流れの中でHemingwayの小説がどのように読み直されているかに注意を向けて、文学テキストを「批評的に」読む訓練をする。春学期にはHemingwayの短編小説（10編を予定している）を、秋学期には長編小説（*A Farewell to Arms*）を、批評やその他の関連文献と併わせて読む。授業は、ゼミ生による発表と質疑応答や意見交換を中心に進めていく。

【評価方法】 学期末に提出してもらう年間2本のレポートと、クラスでの発表の内容、討論への参加度によって総合的に評価する。

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Ernest Hemingway, *A Farewell to Arms* (Scribner Paperback Fiction) とプリント（短編小説）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41318	演習 I	必	通年	4	3	玉崎 孫治	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 人間の社会生活に奉仕する言語、その中で機能する言語

【講義内容】 ロンドン言語学派のHallidayは、「言語はそれを用いる人間に奉仕し、それが果たす機能がその構造のありようを決定する」と考えるが、そこから生まれた選択体系機能言語理論の思考法を学び、その方法論に習熟する。私達の身のまわりにある言語のデータ（正確には、言語使用例、これをテキストと呼ぶ）を分析し、社会記号学的に解釈する方法を学ぶ。これはテキストからそのテキストが生まれた社会的コンテキストを割り出すことを意味し、社会的人間の言語使用の実態を研究することであり、特定のコンテキストに置かれた人間がどのような言語使用をするか（意味を作るか）を研究することである。HallidayはこれをHow to mean（“意味のしかた”）の研究と呼ぶ。

【講義計画】 選択体系機能言語理論の研究書（英語文献）からこの理論の根幹をなすトピックを選択して講読し、思考法を身につける。それと同時にそのトピックに関する解説や研究論文を取り上げて、研究方法の習熟を目指す。次に、ゼミ生自らが、言語使用例で、「意味のしかた」の具現形であるテキストを選択し、英語文献で学んだトピックについて分析をし、発表してもらう。

【評価方法】 ゼミ活動への貢献度、レポートによる

【テキスト】 まずはプリント（配布）であるが、市販のテキストも使う（後日、指定する）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41319	演習 I	必	通年	4	3	山崎 勉	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 *Sketches by Boz*研究

【講義内容】 英語学、英語教育論、英米文学、コミュニケーション論、など英語に関わる文化、あるいはアメリカの歴史、政治、外交、経済、社会などのアメリカの地域研究や国際関係論などの領域にわたる数多くの演習から一つを選択する。テキストの講読、担当者の講義、受講生による口頭発表、質疑応答、討論等を通して各学問分野の基礎的概念と方法論について理解を深めるとともにその分野についての広い知識を得る。

Charles Dickens の*Sketches by Boz*を読む。1833年～1836年に執筆された随筆と短編小説のコレクションであるこの作品には、当時の人々の生活の数多くの側面、そして、社会の病根といったものが横溢している。ヴィクトリア朝の他の作家達の都市を舞台とした作品を読むための準備にもなると思われるので、精読を旨としたい。（ヴィクトリア朝は1837年のヴィクトリア女王即位を以って始まる訳だが、この作品が執筆された頃にも既にその幾つかの特徴が窺われる。）

【講義計画】 グループ毎の発表を旨とする。毎回一グループに発表してもらう訳だが、そのグループ外の学生にはいくつかの質問を前もって準備しておいてもらう。

【評価方法】 普段の発表と学期毎のレポートを対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 Charles Dickens, *Sketches by Boz* (Oxford Illustrated Dickens版)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41351 ） 41358	英語論文作成法	必	春学期 または 秋学期	各2	3	ASTLEY Trevor PURCELL William MAYER David WRIGHT Mark
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【副題】 Research Writing

【講義内容】 英語論文の書き方を習得する。テーマを決め、図書館、インターネットなどで資料を検索し、入手した資料を基に一つの論文にまとめる訓練を行う。参考文献の書き方、脚注の付け方、コロン、セミ・コロンの使い方についてなど、英語で論文を書く際の基本的なルールについても学ぶ。

Research Writing continues the extended essay writing course offered to Second Year students. Since the skills of paragraph development and essay organization have already been practiced, Research Writing emphasizes searching for, evaluating, and documenting the information used to develop and support an argument. This concentrated one-semester course gives training in the documentation skills needed whenever sources are used as the basis of one's writing.

【講義計画】 The style manual serves as a reference for grammar and punctuation in addition to recommendations for stylistic improvements. The manual provides the basics for three popular documentation styles: MLA, APA, and *Chicago*. Work in the library and in the computer room may be part of the class or assigned as homework. The documented essay produced during the course gives a preview of the type of skills that will be needed for the graduation research paper.

【テキスト】 Hacker, Diane. *A Pocket Style Manual*. 3rd ed. Boston: Bedford, 2000.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41501	政治とコミュニケーション	選	春学期	2	3・4	岡部 朗一
他の科目 との関連						他学科 履修 可

【副題】 アメリカの大統領制における説得コミュニケーション

【講義内容】 アメリカの大統領が在任中に国家の統合を図るために駆使する政治コミュニケーションに焦点をあてて、大統領制における説得レトリックの機能を検討する。特に大統領就任演説、自己の立場を擁護するための弁明演説、海外での戦争行為を正当化するための戦争レトリック、それに大統領を退任する際に行なわれる離任演説という各類型をその説得レトリックの視点から分析しながら講義を行う。

【講義計画】 講義で扱う予定のトピックは、以下のようなものである。講義をベースとして授業を行なうが、政治スピーチのビデオを数多く視聴する。

- 政治コミュニケーションの領域とその研究法
- アメリカの大統領制におけるコミュニケーションの位置づけ
- 大統領の就任式に見られるコミュニケーション（就任演説）
- 大統領が苦境に陥ったときに駆使されるコミュニケーション（弁明演説）
- 大統領が海外派兵を正当化するためのコミュニケーション（戦争レトリック）
- 大統領が退任する際に行なうコミュニケーション（離任演説）

【評価方法】 1回の定期試験、特定課題、それに毎週の授業時に行なう出席調査（フィードバックカードの提出）を総合的に判断して、最終評価を行なう。

【テキスト】 岡部朗一『政治コミュニケーション』、有斐閣、1992；岡部朗一『大統領の説得術』、講談社、1994。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41506	人間関係とコミュニケーション	選	秋学期	2	3・4	高井 次郎	
他の科目との関連						他学科履修	可

**【講義内容】** 人間関係の開始・維持・崩壊・終止といった過程を、対人コミュニケーションの観点から解説する。予定されるテーマは、対人認知、対人魅力、自己呈示・印象管理、自己開示、関係性コミットメント、バランス性、社会的サポート、対人葛藤、対人攻撃性、社会的スキル等である。また、同性・異性間や世代間のコミュニケーション等、さまざまな相互作用状況におけるコミュニケーションの特徴を検討する。こうしたテーマを通じて、対人コミュニケーションの諸理論の概略を紹介することも目的とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41511	コミュニケーション特殊研究	選	秋学期	2	3・4	岡部 朗一	
他の科目との関連						他学科履修	可

**【副題】** マスコミュニケーションとしてのテレビメディアの可能性

**【講義内容】** 民間テレビ放送局の現職役員、社員が毎回講師となって、マスコミュニケーションとしてのテレビメディアの潜在的な可能性とその課題を多角的かつ実践的に論じる。授業では、各講師が報道、制作等の現場体験と専門知識を駆使して、現在放送中の生の素材をふんだんに使いながら講義を進め、受講者の「メディアリテラシー」（テレビに代表されるマスメディアを主体的、批判的に視聴できる能力）を高める一助としたい。講義を担当するのは名古屋テレビ放送株式会社の松本国昭（取締役コンテンツセンター センター長代理）、田中俊男（コンテンツセンター副部長、ニュース担当・元シンガポール支局長）、岩本真紀（コンテンツセンター副部長、エンターテイメント担当）、佐藤祐治（コンテンツセンターCP、情報担当部長）、浅井賢二（経営計画室副室長兼番組審議会事務局長）、吉田鏡（テクニカルセンター技師長兼ITセンター副センター長）の各氏である。岡部朗一は講義全体のコーディネーションを図り、質疑応答を中心としたディスカッションのファシリテーターとしての役割を果たす。なお、第7回目の授業（11/13/02）は「学外授業」として位置づけ、名古屋テレビ放送のスタジオおよび制作現場を訪問し、自社制作番組ができるまでのプロセスを見学する予定である。

**【講義計画】** 授業では、各担当者が次のトピックを論じる予定である。

- 10/02/02：「この授業のねらい」授業の目的、形式、評価方法等を説明する（岡部朗一）；「テレビの歴史」テレビ放送の歩みを振り返り、マスコミュニケーションとしてのテレビメディアを概観する。（松本国昭）
- 10/09/02：「テレビのコンテンツ」視聴者ニーズが多様化する中で、テレビのコンテンツとは何か、コンテンツをいかに発信するかを考察する。（松本国昭）
- 10/16/02：「エンターテイメント系テレビ番組」エンターテイメント系テレビ番組の代表的なものの変遷を辿り、さらに番組の企画、取材、構成、編集、放送までを俯瞰する。（松本国昭）
- 10/23/02：「テレビ報道・事件報道と人権」報道の自由と人権の尊重というジレンマの中で、テレビは事件報道をどのように伝えるべきかを考える。（田中俊男）
- 10/30/02：「テレビ報道・海外特派員の役割」テレビ報道において海外特派員の使命とその果たすべき役割について論じる。（田中俊男）
- 11/06/02：「ローカル情報番組（女性対象番組）の制作現場から」ローカル番組、特に女性対象番組がどのような視点から制作されるかを説明し、その社会的なインパクトを論じる。（岩本真紀）
- 11/13/02：学外授業「スタジオおよび制作現場の見学」夕方ニュース情報番組の放送現場を見学する。
- 11/20/02：「ローカル情報番組（コケッココーとTRYアングル）」コケッココーとTRYアングルの担当者としての立場から、ローカル情報番組の存在意義を実践的に考える。（佐藤祐治）
- 11/27/02：「テレビドキュメンタリー」「名古屋テレビ特集」の辿ってきた軌跡を回顧しながら、民間テレビ局のドキュメンタリー番組の潜在的な可能性とその課題を論じる。（佐藤祐治）
- 12/04/02：「テレビの現状（視聴率と広告）」テレビ会社にとって重要な意味を持つ視聴率と広告について、その社会的な意味と機能の側面から論じる。（浅井賢二）
- 12/11/02：「メディアリテラシー（放送基準と放送倫理）」テレビを規制する放送基準と放送倫理の観点から、今後のメディアリテラシーのあり方を考える。（浅井賢二）
- 12/18/02：「デジタル時代のテレビ放送」デジタル時代の21世紀を迎え、テレビメディアの新しい

展開を考える。(吉田鏡)

13. 01/08/03: 「この授業を振り返って」これまでの11回の講義と1回の「学外授業」を総括する。(岡部朗一、各講義担当者)

【評価方法】 講義担当者とコーディネーターとの合議により出題される問題(論述式)に関する定期試験(50分)と、毎回の授業時に提出する「フィードバック・カード」を基に行なう出欠調査のデータを考慮して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストは使用しない。必要に応じて、参考資料としてプリント類を配付する予定である。

【その他】 毎回の授業の最後に設定される質疑応答を中心としたディスカッションには、積極的に参加すること。また、授業時間の制約から、授業時には指定されたテレビ番組のサワリしかVTRで紹介できないから、指定されたテレビ番組を視聴しておくか、視聴覚ライブラリーにビデオテープが用意されるので、それを予め視聴しておくこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41516	英語教育特殊研究	選	春学期	2	3・4	松永 隆
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 受講者にインタラクティブな学習環境を提供し、コミュニケーションにおける相互作用が第二言語習得へどのような影響を及ぼすかを考察する。実際のインタラクションを活用した体験学習を通して、各受講者自身の英語教育能力と運用能力を向上させることが目的である。

【講義計画】 インタラクションがどのように第二言語習得に関わるのかを考察することが主目的である。はじめに、社会文化的言語学習理論に基づく実証研究、学習スタイルとコミュニケーションストラテジーに焦点を当てた文献を紹介しながら基礎的な知識を習得してもらう。後半からは、特に教室における学習間のコミュニケーション、ネイティブスピーカーと学習者とのインタラクションを談話分析の手法を用いて調査し、どのような会話調整やコミュニケーションストラテジーが使用されているのかを分析し、言語習得への意義と有効性を考察する。

具体的な学習項目は次にとおりである：

1. Socio-cultural theory of second language learning
2. Cooperative language learning task-based learning, and socio-cultural theory of learning
3. Communication strategies and conversational adjustments
4. Interaction in the second and foreign language classrooms
5. Learning styles and the second language classroom
6. Autonomy in language learning

【評価方法】 隔週実施する小テスト、中間・期末テスト(小レポートの可能性もあり)、出席を総合的に評価する。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリントを使用する。参考文献は松永のウェブページで提示する：  
<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/~matunaga/nuts/archives/archive.html>

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41521	英語の構造 I	選	春学期	2	3・4	有元 将剛
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 英語の音韻構造、語構造、統語構造の概要を明らかにするが、重点を統語構造に置く。適宜、日本語あるいは他言語と対照しつつ、言語の普遍性の観点からも英語の構造を考える。

【講義計画】 英語の補文構造、テンスとアスペクト、法、関係節/Wh疑問文、存在文、倒置文、照応など英語文法の諸相について論じ、英語の文法体系の姿を明らかにする。また、英語と日本語の相違点についても、それが

どのように説明すべきかについて述べる。

【評価方法】 期末試験、小さなレポートなどで統合的に評価する。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41526	英語の構造Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	有元 将剛	
他の科目との関連	英語の構造Ⅰの履修が望ましい					他学科履修	可

【講義内容】 英語の音韻構造、語構造、統語構造の概要を明らかにするが、重点を統語構造に置く。適宜、日本語あるいは他言語と対照しつつ、言語の普遍性の観点からも英語の構造を考える。

【講義計画】 英語の補文構造、テンスとアスペクト、法、関係節/Wh疑問文、存在文、倒置文、照応など英語文法の諸相について論じ、英語の文法体系の姿を明らかにする。また、英語と日本語の相違点についても、それがどのように説明すべきかについて述べる。

【評価方法】 期末試験、小さなレポートなどで統合的に評価する。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41531	英文法論Ⅰ	選	春学期	2	3・4	鈴木 達也	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 言語は人間のもつ生物学的能力の一つであると仮定する生成文法に基づいた言語研究について、その歴史的発展を振り返りながら最新理論に至るまでを概観し、生成文法の目指すものは何か、また人間言語とはどういうものかということについて理解を深めることにする。

【講義計画】

1. イントロダクション：生成文法の基礎
2. 初期（1950年代～60年代中期）
3. 発展期（1960年代後期）
4. 転換期：派生の制限～変形部門の縮小
5. まとめ

【評価方法】 期末テストの結果を中心に授業への参加度も含めて総合的に判断する。

【テキスト】 なし。ただし、適宜配付するハンドアウトに基づいて授業を進める。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41536	英文法論Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	鈴木 達也	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 言語は人間のもつ生物学的能力の一つであると仮定する生成文法に基づいた言語研究について、その歴史的発展を振り返りながら最新理論に至るまでを概観し、生成文法の目指すものは何か、また人間言語とはどういうものかということについて理解を深めることにする。

- 【講義計画】
1. イントロダクションⅠ：規則の集合としての文法
  2. イントロダクションⅡ：原理・変数アプローチ概観
  3. 1970年代後期
  4. 1980年代：統率束縛理論
  5. 新理論：ミニマリスト・プログラム
  6. まとめ

【評価方法】 期末テストの結果を中心に授業への参加度も含めて総合的に判断する。

【テキスト】 なし。ただし、適宜配付するハンドアウトに基づいて授業を進める。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41541	英語音声学Ⅰ	選	春学期	2	3・4	日野水 憲	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 Subtitle: The Elements of the Sounds of English

【講義内容】 英語音声学の基礎知識を与えると同時に、特に日本人が英語を発音する際の困難点を指摘し、日・英語の音韻構造の違い、英語の発音指導のためのヒントを示す。発声器官の名称と働き、英語音の分類と記述、音連続の発音、発話に見られる音声的变化、アクセント、イントネーション等を詳述する。

【講義計画】 During the Spring Semester, we will consider the elements with constitute the sounds of language, especially the sounds of one particular language, that is, English. The concepts of segmental phonology, such as the phoneme, allophone, syllable, and distinctive features will be discussed.

Although this is mainly a lecture course, the students are expected to master and use the IPA system, in class and out.

Due to the nature of the course, the language of instruction will be mainly English.

【評価方法】 One 90-minute final examination; class participation. One tape recording of material relevant to class may be assigned.

【テキスト】 Roach, P.(2001): *English Phonetics and Phonology*, 3<sup>rd</sup>ed. Cambridge: Cambridge University Press.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41546	英語音声学Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	日野水 憲	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 Subtitle: Suprasegmental Features of English

【講義内容】 英語音声学の基礎知識を与えると同時に、特に日本人が英語を発音する際の困難点を指摘し、日・英語の音韻構造の違い、英語の発音指導のためのヒントを示す。発声器官の名称と働き、英語音の分類と記述、音連続の発音、発話に見られる音声的变化、アクセント、イントネーション等を詳述する。

【講義計画】 Building on the knowledge gained during the Spring semester, we will discuss phenomena spanning larger segments than phoneme and syllable. The main interests will be Intonation and Rhythm, though other relevant phenomena will be consider in relation to these.

It will be assumed that students have taken the Spring semester course; if not, it will up the student to review the relevant material before, or at least concurrently with, Fall semester classes.

【評価方法】 One 90-minute final examination; class participation. One tape recording of material relevant to class may be assigned.

【テキスト】 Roach, P.(2001): *English Phonetics and Phonology*, 3<sup>rd</sup> ed. Cambridge: Cambridge University Press.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41551	英語学特殊研究	選	秋学期	2	3・4	玉崎 孫治	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 言語はそれを用いる人間に奉仕し、機能する

【講義内容】 言語を社会的記号論として捉え、文法研究の中に社会的語用論の視点を取り入れた選択体系的機能言語学の諸問題を論じるのがこの講義の目的である。ジャンルとレジスター、テキストとコンテキスト、ThemeのRheme、テキストの結束性など、機能言語学的な研究課題を通じ、言語研究から異文化理解への道を探る。

【講義計画】 Hallidayの選択体系機能理論を紹介し、その骨組みを提示した後、この理論に基づく研究（英語文献）を取り上げながら、この理論に関わる問題を考察する。形式文法と対峙させてHallidayの機能文法を比較検討し、（時間が許せば、）社会と言語の関係、対人的活動のコミュニケーションの媒体と言語の口語性・文語性の関係等を考察する。考察の中心は、一貫して、「言語は社会的活動の中の人間に奉仕し、それが果たす機能がその構造のありようを決定する」という主張である。

【評価方法】 レポートによる。

【テキスト】 プリント（配布）を中心とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41552	英語学特殊研究	選	春学期	2	3・4	佐々木 剛志	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 beとhave、その他

【講義内容】 英語の中の動詞を中心に見ていく。中でもやや特殊なbeとhaveを中心に取り上げる。どの様にこの二つの動詞が特殊であるかを考察し、そして更にデータを基にした分析を試みる。この二つの特殊動詞に対する考察を更に他の動詞にまで当てはめて、言語の一般的傾向を探るものである。

【評価方法】 学期末試験

【テキスト】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41553	英語学特殊研究	選	秋学期	2	3・4	村杉 恵子	
他の科目との関連	「言語研究の基礎」などを既習し、言語学の基礎的知識があることが望ましい。					他学科履修	可

【副題】 心理言語学

【講義内容】 現代言語学理論に基づく言語習得理論と言語習得の実証的研究を概観する。特に第一言語獲得と、第二言語習得について考える。統語的な文法能力が、いつ、どのように、習得されるのかを理論的・実証的に考察することにより、人間の心に内在する言語能力のメカニズムを解明する。

心理言語学の三つの主要な分野である、言語獲得、文（文章）理解、産出の諸問題について考える。他の分野（統語論、音韻論、意味論、形態論、神経言語学など）との関連についても言及する。

【講義計画】 主に文法獲得（疑問文や受動態などの移動現象や、束縛理論など）について具体的な実証的研究を概観しながら、「なぜ、子供はこんなにもいろいろな文法知識をもつか」に焦点をあて、人間のもつ生得的な文法知識の中身について理論的考察を加える。

また、第一言語獲得と第二言語獲得の共通点と相違点についても言及する。第一言語獲得や第二言語獲得に見られる「誤用」について、音、意味、統語、形態、誤用論などの面から重要な事実をとりあげ、それについての理論的分析を紹介する。

【評価方法】 各学生の興味に応じ、言語に関する研究題材を選び、（１）先行研究を調査し、（２）仮説をたて、（３）データを採集、整理し、（４）文法理解の枠組みで分析し、（５）論文としてまとめて提出する。

【テキスト】 授業時に指定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41554	英語学特殊研究	選	夏期後半	2	3・4	TANCREDI Christopher	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22716「意味論」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41556	イギリス文学史Ⅰ	選	春学期	2	3・4	橋本 恵	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 イギリス文学を、歴史の流れに沿ってたどるとともに、時代をこえて普遍的に見られる文学形式や主題に着目しつつ考察する。講義にあたっては、数多くの作品や作家を網羅的に取り上げることはせず、各時代の時代思潮を鮮明に表す作品を重点的に取り上げる。そして実際に個々の作品を読解することによってイギリス文学史の全体像を捉えられるようにする。

【講義計画】 イギリス文学を歴史の流れに沿って概観する。各時代の社会や思潮をふまえると同時に、時代・地域・文化を越えて存続する文学ジャンルや主題の継承と変容にも着目して講義する。多数の作家や作品を網羅的に取り上げ、それらを暗記するということはない。むしろ、各時代を代表する作品に焦点をあて、実際にそれらを読むことによって、イギリス文学史全体の姿をとらえる。

【評価方法】 レポートおよび定期試験による評価。

【テキスト】 配付資料。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41561	イギリス文学史Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	橋本 恵	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 イギリス文学を、歴史の流れに沿ってたどるとともに、時代をこえて普遍的に見られる文学形式や主題に着目しつつ考察する。講義にあたっては、数多くの作品や作家を網羅的に取り上げることはせず、各時代の時代思潮を鮮明に表す作品を重点的に取り上げる。そして実際に個々の作品を読解することによってイギリス文学史の全体像を捉えられるようにする。

【講義計画】 イギリス文学を歴史の流れに沿って概観する。各時代の社会や思潮をふまえると同時に、時代・地域・文化を越えて存続する文学ジャンルや主題の継承と変容にも着目して講義する。

多数の作家や作品を網羅的に取り上げ、それらを暗記するということはない。むしろ、各時代を代表する作品に焦点をあて、実際にそれらを読むことによって、イギリス文学史全体の姿をとらえる。

【評価方法】 レポートおよび定期試験による評価。

【テキスト】 配付資料。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41566 41571	アメリカ文学史Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	武田 悠一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 植民地時代から現代に至るまでのアメリカ文学の歴史を概観する。アメリカ文学について全体的な知識を習得すると同時に、「アメリカ」「文学」「歴史」という概念が、人種、階級、ジェンダーなどの観点から、どのように捉え直されてきたか（また、捉え直されつつあるか）を、具体的なトピックを通じて考える。

【講義計画】 講義はテキストに沿って進めるが、重要と思われる作品、作家、文学思想を重点的に取り上げて論じる。取り上げる作品の一部を原文（プリントして配布）で読んだり、関連する映画を観たりしながら、個々の作品に対する理解を深めると同時に、それらの作品がどのような文化的・歴史的条件のもとで生み出され、受容されてきたかを文化論的に考察する。

「アメリカ文学史Ⅰ」（春学期）では19世紀半ばまで、「アメリカ文学史Ⅱ」（秋学期）では19世紀後半から現代に至るまでについて講義する予定である。

【評価方法】 学期末試験の成績によって評価する。

【テキスト】 別府恵子／渡辺和子編著『新版アメリカ文学史』（ミネルヴァ書房）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41576	英米の小説	選	春学期	2	3・4	MAYER David
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Literature by Americans of Japanese Ancestry

【講義内容】 「文学研究の基礎」で学んだ研究方法を用いて、英米（特に19～20世紀）の小説家の作品世界を体験させようとするコース。扱う作家の国籍や時代、作品のタイプやテーマは担当者によって異なる。文学は言語を媒体とする人生の解釈であるがゆえに、このコースはコミュニケーション論や歴史、社会学の専攻生にも興味深いものとなろう。

**Content.** This course on literature by Americans of Japanese Ancestry (AJA) will treat the history of immigrants on the east and west coasts, the presence of Japanese immigrants in Seattle, Portland, San Francisco, and Los Angeles, the World War II imprisonment, and a survey of representative literature from the first to fourth generation writers.

【講義計画】 **Procedure.** After the introductory lectures, most of each class will center on the readings for the day. The teacher will present the material in twenty-minute lectures. Then students discuss among themselves and write questions for the teacher. When the lectures and question-and-answer periods are finished, students share what they have written in their "story diary." The story diary contains the students' impressions of the story, essay, or poems as they are reading them. It also contains reflections on the class lecture and discussions. The reflections will be written during the last ten minutes of class. The impressions should be written before the class (they will be stamped by the teacher at the beginning of class).

【評価方法】 **Grading:** Grades will be given on the basis of having the story diary written for each class on time, the amount written (at least one B5 notebook page for each reading assignment), and the quality of the ideas expressed. The diaries will be collected mid-term and at the end of the course for grading. (To give some feedback during

the course, each class the teacher will take one story diary from each discussion group of four and read parts to the whole class.)

【テキスト】 植木照代\*ゲイル K.佐藤 編集。日系アメリカ文学：三世代の軌跡を読む。大阪：創元社、1997。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41577	英米の小説	選	春学期	2	3・4	SELAND John
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Types of Novels

【講義内容】 「文学研究の基礎」で学んだ研究方法を用いて、英米（特に19～20世紀）の小説家の作品世界を体験させようとするコース。扱う作家の国籍や時代、作品のタイプやテーマは担当者によって異なる。文学は言語を媒体とする人生の解釈であるがゆえに、このコースはコミュニケーション論や歴史、社会学の専攻生にも興味深いものとなろう。

【講義計画】 This course will focus on the various types of novels written in English: the picaresque novel, the anti-novel, the novel of the hero's maturation, the artistic novel, the colonial novel, and so on. In order to understand more clearly the contents of the works we will read, a good amount of background material will be given. We will read sections of the following works: *Wuthering Heights*, *Jane Eyre*, *Great Expectations*, *Tess of the D'Urbervilles*, *King Solomon's Mines*, *Lord Jim*, *Howards End*, *The Third Man*, *Lord of the Flies*, *The French Lieutenant's Woman*, and *Midnight's Children*.

Prints will be distributed, and videos will be used at times.

Text: *The English Novel: An Introduction through Video*, by Christopher Tate, Kaibunsha.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41578	英米の小説	選	春学期	2	3・4	荻野 昌利
他の科目との関連	秋学期「英米文学特殊研究」(荻野)と連結					他学科履修可

【副題】 Hemingway, *The Nick Adams Stories* を読む

【講義内容】 「文学研究の基礎」で学んだ研究方法を用いて、英米（特に19～20世紀）の小説家の作品世界を体験させようとするコース。扱う作家の国籍や時代、作品のタイプやテーマは担当者によって異なる。文学は言語を媒体とする人生の解釈であるがゆえに、このコースはコミュニケーション論や歴史、社会学の専攻生にも興味深いものとなろう。

【講義計画】 Hemingwayがさまざまな機会に発表したNick Adamsを主人公にした短編小説は極めて自伝的色彩の濃厚なものであるが、今回用いるテキストは、それらの短編を一括した作品集で、作者の全体像を把握するための不可欠の資料である。この講座では、そのうちNickの少年期、思春期を扱った“Three Shots,” “Indian Camp,” “The Battlers,” “The Killers”を取り上げ、テキストの解釈と並行して作品の鑑賞を行うことにする。それによってHemingwayの少年時代の一端に触れることができればと思う。途中授業で取り上げられなかった作品の一点を選び、その簡単なレポートを書かせることを予定している。

【評価方法】 期末試験に普段点と簡単なレポートを加えて総合的に評価する。

【テキスト】 Ernest Hemingway, *The Nick Adams Stories* (Charles Scribner's Sons).

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
41581	英米の詩	選	春学期	2	3・4	鈴木 孝夫
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 英詩プロムナード

【講義内容】 優れた詩は感覚の喜びであると同時に精神の喜びである。本講は英米の短詩のなかから親しみやすい名作を毎回2～3編選んで解説し、英詩の醍醐味を味わおうとするもの。特に次の2点に配慮したい。

- 1) 詩の言葉が持つ輝きと豊かな暗示性を理解する。
- 2) イメージや音を持つ優れた表現効果を理解する。

講義は、シェイクスピアから20世紀初頭までのヴァラエティ豊かなイギリス詩を主な対象とするが、学期末の2回は19世紀アメリカの二大詩人--- Whitman とEmily Dickinson ---を扱う。

【講義計画】 毎回、作品についての感想・講評や質問を記した1頁程度のレポートを提出を出してもらい、レポートの意見や質問を取り入れた解説を教員が行う。活発な質疑応答を歓迎する。

【評価方法】 毎回のレポートと授業における発言内容による。

【テキスト】 中西信太郎編、*A First Book of English Verse* (英宝社)。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
41582	英米の詩	選	秋学期	2	3・4	WORDELL Charles
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 Twentieth Century American Poetry

【講義内容】 文学作品、殊に詩を読むことは、一つの体験と見ることができる。作品の中にひとたび身を置くと我々はいっしょに、言葉やイメージの豊かな暗示性に導かれて、作家と同じ目で世界を見つめ直している。このコースは中世のバラッドやシェイクスピアからロマン派や現代アメリカの自由詩まで驚くほどの多様性とヴァイタリティーを示している英米の詩を精読し味わうもの。対象とする詩人やジャンルは担当者により異なるが、音やイメージの持つ魔術的な効果を解い明かすことが共通も目的である。

【講義計画】 This course is a general introduction to American poetry of the last century. We will read poems by eleven poets from the period 1900 to 1950. Poems and songs share many qualities, including rhyme, rhythm, and the use of images. Students in this course will study famous poems along with songs by popular singers. Before class every week, students will read and answer questions about two or three poems by poets such as Robert Frost, Ezra Pound, and Edna St. Vincent Millay. During class, the teacher will lecture about poetry and the poet, and students will discuss the poem. Also, each week students will listen to and discuss the poetic qualities of one popular song in English. The lectures will be in English, but students will be able to discuss the poems in Japanese in small groups.

Class 1: Introduction; 2: Robert Frost; 3: Carl Sandburg; 4: William Carlos Williams; 5: Ezra Pound; 6: T. S. Eliot; 7: Edna St. Vincent Millay; 8: e. e. cummings; 9: Langston Hughes; 10: Denise Levertov; 11: Lawrence Ferlinghetti and Charles Bukowski; 12: Jack Kerouac and Allan Ginsberg; 13: In-class presentations.

【評価方法】 Class grade will be based on enthusiasm and effort in class (30%); on completion of the homework writing and reading assignments (50%); one presentation (10%); and one final report (10%). Because much of our work will be done in class, it is necessary for you to come to class and participate. Too many absences will affect your grade.

【テキスト】 Students will receive handouts containing the poems and notes about analyzing poetry.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
41587	英米の演劇	選	春学期	2	3・4	小林 かおり	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 シェイクスピア上演史

【講義内容】 シェイクスピアの演劇作品をいくつか取り上げ、それらがそれぞれの時代の社会的・文化的コンテクストのどのように上演されてきたかを、ビデオ・スライド・図版などを使って検証していく。

【講義計画】

1. シェイクスピア入門
2. シェイクスピア上演の歴史
3. シェイクスピア上演の歴史
4. 『ロミオとジュリエット』
5. 『ロミオとジュリエット』
6. 『ロミオとジュリエット』
7. 『ロミオとジュリエット』
8. 『ロミオとジュリエット』
9. 『オセロー』
10. 『オセロー』
11. 『オセロー』
12. 『オセロー』
13. パフォーマンス
14. パフォーマンス

【評価方法】 出席重視。レポート実施。グループによるシェイクスピア上演も評価の対象。

【テキスト】 松岡和子訳『ロミオとジュリエット』（ちくま文庫）、小田島雄志訳『オセロー』（白水社）、プリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
41591	英米文学特殊研究（小説）	選	春学期	2	3・4	山崎 勉	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 Charles Dickensの中・後期の作品における諸問題

【講義内容】 Dickensの中・後期の長編小説に窺われる諸相について語る。これらの作品に影響を与えた時代、そして、その精神、また、同様な役割を果たしたDickensの直接体験を分析するとともに、彼の小説家としての手腕が育まれ、成熟していった軌跡を辿りたい。

【講義計画】 *Dombey and Son, David Copperfield, Bleak House* の順に分析する予定。勿論、その他の作品への言及を随所ですることになる。

【評価方法】 学期末のレポートによる評価。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41592	英米文学特殊研究 (小説)	選	秋学期	2	3・4	SELAND John
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 *Lord Jim*

【講義内容】 We will read Joseph Conrad's novel, *Lord Jim* (1899-1900), with a view of trying to appreciate the author's experimental style and psychological depth, as well as his attitude towards colonization and how he portrays Europeans living in Southeast Asia, Eurasians, and the life and attitudes of the native people themselves. His ideas about what truly matters in human conduct are also worth investigating.

【テキスト】 *Lord Jim*, Joseph Conrad, Norton Critical Edition, 2nd ed. 1996.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41593	英米文学特殊研究 (小説)	選	秋学期	2	3・4	荻野 昌利
他の科目との関連	春学期「英米の小説」(荻野)を取ることが望ましい					他学科履修可

【副題】 Ernest Hemingway, *The Nick Adams Stories* 講読

【講義内容】 前期「英米の小説」にリンクさせてNick Adamsの青年期、特に戦争(第一次大戦)と戦争から帰還した後のNickを扱った作品“A Way You'll Never Be”と“Big Two-Hearted River”を中心に読む。これらの作品はいずれもHemingwayの代表作*A Farewell to Arms*や*The Sun Also Rises*と緊密な関係のある作品であり、作家の全体像の把握には必要・不可欠な資料である。

【講義計画】 基本的にはテキスト・リーディングを中心にするが、随所に文学的な鑑賞の手引きを交え、Hemingwayの文体や小説技巧について幅広く講ずる予定である。なお途中、*A Farewell to Arms*か*The Sun Also Rises*のいずれかを(できれば原書で)読み、それと短編小説との関連性を考察する簡単なレポート(和文)を書かせることを計画している。

【評価方法】 期末試験とレポート、それに普段点を加味して総合的に判断する。

【テキスト】 Ernest Hemingway, *The Nick Adams Stories* (Charles Scribner's Sons).

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41596	英米文学特殊研究 (詩)	選	秋学期	2	3・4	鈴木 孝夫
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 デイッキンソン研究

【講義内容】 ニュー・イングランドの古風な町 Amherst に生まれた Emily Dickinson は未婚の生涯のほとんどを父の邸宅で過ごした。彼女の詩の多くは台所の机の上の請求書などにメモ風書き留められた短詞である。しかし、デイッキンソンは、明確なイメージを用いて謎に満ちた世界に対する愛と認識を表現した点で西洋文学史上、卓越した女流詩人であった。

本講は、ニュー・イングランドの精神風土と時代背景を考慮しつつ、例えば〈夕暮れの光〉〈海〉などの暗示性豊かなイメージ語を鍵として、デイッキンソンの内的世界を開こうとするもの。次の6テーマを各2回で論じる予定。

- 1) デイッキンソン詩の特徴
- 2) 想像力の城

- 3) 自然の魅力と神秘
- 4) 愛と死と永遠
- 5) 信仰と懐疑
- 6) 孤独と、創造の永遠性

【講義計画】 講義形式を主とするが、毎回、作品についての感想・講評や質問を記した1頁程度のレポートを提出してもらい、レポートの意見や質問を取り入れた解説を教員が行う。質疑応答によって活気ある授業を目指す。

【評価方法】 毎回のレポートと授業における発言内容による。

【テキスト】 新倉俊一編『ディキンソン詩選』研究社小英文叢書。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41602	英米文学特殊研究（演劇）	選	秋学期	2	3・4	小林かおり
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 シェイクスピア上演史

【講義内容】 シェイクスピアの演劇作品をいくつか取り上げ、それらがそれぞれの時代の社会的・文化的コンテキストのどのように上演されてきたかを、ビデオ・スライド・図版などを使って検証していく。

- 【講義計画】
1. シェイクスピア入門
  2. シェイクスピア上演の歴史——アル・パチーノ監督『リチャードを探して』
  3. 『夏の夜の夢』
  4. 『夏の夜の夢』
  5. 『夏の夜の夢』
  6. 『夏の夜の夢』
  7. 『十二夜』
  8. 『十二夜』
  9. 『十二夜』
  10. 『十二夜』
  11. 『十二夜』
  12. 『十二夜』
  13. パフォーマンス
  14. パフォーマンス

【評価方法】 出席重視。レポート実施。グループによるシェイクスピア上演も評価の対象。

【テキスト】 松岡和子訳『夏の夜の夢』（ちくま文庫）、松岡和子訳『十二夜』、プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41607	作家作品研究（アメリカ文学）	選	秋学期	2	3・4	中村 栄造
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Nathaniel Hawthorneの短編研究：  
19世紀アメリカの芸術家と社会の問題を考える

【講義内容】 この科目は、シェイクスピア以降の英米文学の名作または問題作1編～数編を精読し、1) 作品のメッセージ解読の方法を教え、2) 濃密なテキスト読解により、ゆるぎない文献読解力を養成する。1)にあたっては、厳密なテキスト分析を出発点とするが、解釈の方法は、心理学、文化人類学、現象学などを援用して作品の深層構造を解明する、文化史や社会的背景と関連して考察するなど、担当者により異なる。

- 【講義計画】 “The Birthmark”、“The Artist of the Beautiful”、“Ethan Brand”を精読する。  
“Rappaccini’s Daughter”に関しては、ビデオ教材を利用し、講義形式で授業を進める。
- 【評価方法】 授業への出欠、授業への参加度、および定期試験で評価する。
- 【テキスト】 『詳注ホーソン短編集 I』 小山敏三郎編注、南雲堂

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41608	作家作品研究（アメリカ文学）	選	春学期	2	3・4	大場 厚志	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 ナサニエル・ホーソンの短篇を読む
- 【講義内容】 この科目は、シェイクスピア以降の英米文学の名作または問題作1編～数編を精読し、1)作品のメッセージ解読の方法を教え、2)濃密なテキスト読解により、ゆるぎない文献読解力を養成する。1)にあたっては、厳密なテキスト分析を出発点とするが、解釈の方法は、心理学、文化人類学、現象学などを援用して作品の深層構造を解明する、文化史や社会的背景と関連して考察するなど、担当者により異なる。
- 【講義計画】 19世紀のアメリカ作家ナサニエル・ホーソンの短篇を読む。扱うのは以下のとおり。  
1 “The Minister’s Black Veil”  
2 “Rogen Malvin’s Burial”  
3 “My Kinsman, Major Molineux”  
(余裕があれば“Wakefield”も扱う予定)
- 【評価方法】 定期試験の成績に平常点を加味して行う。
- 【テキスト】 *Roger Malvin’s Burial & Other Tales* (開文社出版)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41611	作家作品研究（イギリス文学）	選	秋学期	2	3・4	山崎 勉	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 *The Return of the Native* 研究
- 【講義内容】 Thomas Hardyの*The Return of the Native*を読む。George Gissingとともに自然主義作家として著名なHardyの作品の裡でも、代表的な作品の一つである。現在のDorsetshireを中心としたイギリス南西部の田園地帯を背景として創作活動をしたこの作家の作品には、そこに暮らす人々の特徴、彼らの生活様式、そして、自然美が巧みに描出されている。これらのものを吟味することが出来れば、英文学の世界の極めて優れた部分を垣間見ることになる。
- 【講義計画】 グループ毎の発表とそれに対する他の者達の質疑からなる授業。
- 【評価方法】 普段の発表とレポートを対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時間数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多(S)」による不合格とする。
- 【テキスト】 Thomas Hardy, *The Return of the Native* (A Norton Critical Edition).

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41612	作家作品研究 (イギリス文学)	選	春学期	2	3・4	SELAND John	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 Conrad, Joyce, and Lawrence

【講義内容】 By analyzing short but famous works by these writers (*Heart of Darkness*, Conrad; *The Dead*, Joyce; *St. Mawr*, Lawrence), and by relating them to longer novels by each author, we hope to learn about the writer's main themes and techniques. Historical and biographical information will be given in order to enable us to relate what was taking place within and outside England at the time (late nineteenth – early twentieth centuries) and to comprehend the writer's attitudes towards society.

【テキスト】 *Modern British Literature*, ed. Frank Kermode and John Hollander (New York, Oxford, and London: Oxford, 1973).

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41616	アメリカの歴史	選	春学期	2	3・4	川島 正樹	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 市民権運動 (Civil Rights Movement) の歴史

【講義内容】 この授業では、今日わが国ともっとも関係が深い国の一つとなっており、近現代世界史においてもっとも中心的な役割を演じてきた国の一つでもあるアメリカ合衆国の歴史を、特に「人種」や富の分配をめぐる問題を中心軸にすえながら概観し、それらに徹底する本質的問題点を抉り出し、それらの解決に向けた歴史的視座の確立を目指す。より具体的には、奴隷制および大西洋貿易システムと英領北米植民地および初期共和国の発展の関係、市民権運動 (公民権運動とも言われる) へと至る奴隷制解体以降の「人種」をめぐる問題、北部を含めた大都市中心部の貧困と不平等の問題などのテーマを中心に授業を構成する。

【講義計画】 主に1950年代後半から60年代前半にかけてアメリカ合衆国の南部各地で高揚した市民権運動に焦点を当てた授業とします。

現在のアメリカ合衆国は他国の「非民主主義的行為」に対して軍事制裁をも辞さない、自由と平等といった普遍的価値観を重視する国とされています。ですから、第二次大戦後も長らく国内の南部に少し前の南アフリカ共和国のアパルトヘイトとあまり変わらない人種差別体制を持つ国だったという事実に関しては、キング牧師の「私には夢がある」演説を高校の英語の時間に学んだ学生諸君でさえ、にわかには信じ難かったにちがひありません。この授業では適宜ビデオ教材も利用しながら、市民権運動の前半局面 (第二次世界大戦後から1965年まで) の歴史を概観し、より困難な課題に突き進む第二局面を垣間見ていきます。受講生は質疑応答など、積極的な参加を要請されます。具体的には次のような要領で授業を進める予定です。( ) 内の数字は予定授業回数を表します。

1. はじめに：ジムクロー (=人種差別) 体制の起源と動揺の文脈、残存する偏見 (1)
2. 第二次大戦後のジムクロー体制の動揺とモントゴメリー運動の意義 (2)
3. リトルロック事件と教育の人種統合の行方 (2)
4. 学生達の決起のインパクト (2)
5. バーミングハム闘争と「私には夢がある」演説 (2)
6. 選挙権をめぐる闘いと「勝利」後の苦難 (3)

【評価方法】 授業中の小テスト (3回実施)、および期末レポート (小テスト2回以上受験者のみに提出資格有り)。さらに授業中の意見発表を加点。

【テキスト】 特に指定しませんが、参考書として次の書物を強くお勧めします。  
Henry Hampton and Steve Fayer, eds., *Voices of Freedom: An Oral History of the Civil Rights Movement from the 1950s through the 1980s* (New York: Bantam Books, 1990)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41621	アメリカ史特殊研究	選	秋学期	2	3・4	川島 正樹	
他の科目との関連	春学期の「アメリカの歴史」を受講しておくことを強く希望する					他学科履修	可

【副題】 アメリカ合衆国北部における「人種」隔離・差別の歴史と現在

【講義内容】 この授業では、今日わが国ももっとも関係が深い国の一つとなっており、近現代世界史においてもっとも中心的な役割を演じてきた国の一つでもあるアメリカ合衆国の歴史に関する概括的知識をもとに、特に「人種」や富の分配をめぐる問題を中心軸にすえながら、より深い理解を目指す。より具体的には、奴隷制および大西洋貿易システムと英領北米植民地および初期共和国の発展の関係、市民権運動（公民権運動とも言われる）へと至る奴隷制解体以降の「人種」をめぐる問題、北部を含めた大都市中心部の貧困と不平等の問題などのテーマを中心に授業を構成する。

【講義計画】 アメリカ合衆国北部都市に焦点を当てた授業とします。独立革命後に奴隷制が廃止され、法律による「人種」隔離制度も、遅くとも南北戦争（1861～1865年）後にはなくなったアメリカ合衆国の北部では、南部に比べて「人種」偏見やそれが制度化された差別がなかったと言ってよいのでしょうか。キング牧師の運動は南部で「法的平等」という一応の「勝利」を得た後に、なぜ北部の代表的都市であるシカゴの闘争で事実上の挫折を余儀なくされたのでしょうか。独立革命の発火点となり、かつて奴隷制廃止運動の拠点となり、新しくは「リベラル派」ケネディ兄弟の故郷でもあるボストンで、なぜに白人住民は「バス輸送」による「人種統合教育」の裁判所命令に、暴力的なものを含む強い抵抗を示したのでしょうか。リンドン・B・ジョンソン大統領の「貧困との戦争」によっても、北部を主とした大都市中心部の、長期にわたって就労意欲さえ喪失してしまっていると言われる「アンダークラス」の苦境は改善されないばかりか、むしろ深まっていますか、それは彼ら／彼女らの「貧困の文化」、すなわち保守派が言うところの「自己責任」に帰せられるべき問題なのでしょうか。それとも新たな「人種」差別なのでしょうか。

この授業では、ビデオ教材などを交えながら、主にアメリカ合衆国の北部都市に焦点を当て、植民地時代から現在に至るまでの「人種」偏見の根強さを跡付けることから出発し、第一次大戦を契機とし第二次大戦後に本格化する南部黒人の北部都市への移動が刺激した「人種」偏見に基づく白人住民の反動的な地域運動、戦後リベラリズムの旗手としての労働運動の限界性、地方自治体のみならず連邦政府の責任、製造業の衰退と産業のサービス化や経済のグローバル化といった構造変化のインパクトなどの諸要因を検討し、公共政策による社会正義の実現を推進すると同時に、それを阻む側の論拠ともなってきた、個人主義や地方分権への信念に基づくアメリカ民主主義のはらむ本質的問題にまで迫りたいと思います。

具体的には次のような要領で授業を進める予定です。（）内の数字は予定授業回数を表します。

1. はじめに——北部で再定義され続けてきた「人種」（1）
2. 「勝利」後のキング牧師の苦難と「偉大な社会」構想の挫折（1）
3. 事例研究(1)：戦後デトロイトの脱工業化と都心部「アンダークラス」（4）
4. 事例研究(2)：シカゴ、都心部「アンダークラス」、アフターティヴ・アクション（4）
5. 事例研究(3)：ボストンの「人種」統合教育の試みと挫折（1）
6. まとめに代えて——あるアフリカ系アメリカ人兄弟の「明暗」（1）

【評価方法】 授業中の小テスト（3回実施）、および期末レポート（小テスト2回以上受験者のみに提出資格有り）。さらに授業中の意見発表を加点。

【テキスト】 ①トマス・J・スグルー『アメリカの都市危機と「アンダークラス」』（明石書店、2002年、定価4800円）。②ウィリアム・J・ウィルソン『アメリカ大都市の差別と貧困』（明石書店、1999年、定価4800円）。（各章ごとの追加的参考文献はそのつどお知らせします。）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41626	アメリカの政治	選	秋学期	2	3・4	岩野 一郎	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 世界システムとアメリカ外交：20世紀アメリカ帝国の形成と崩壊

【講義内容】 わが国と最も重要な二国間関係を持っているアメリカ合衆国の政治について、歴史的、ないしはトピカルな視点でもって考察を加えていくのが主たる目的である。アメリカの政治の枠組みである連邦制度の成

立を、歴史的に考察し、それが憲法にどのように盛り込まれているかを眺め、次いで、行政部（大統領制）・立法部（連邦議会）・司法部（連邦司法制度）を概観する。政党・圧力団体・選挙といった政治機関や制度、また、マスコミ、世論などにも言及する。

【講義計画】 今学期は行政部を中心に講義をする。まず合衆国憲法の制定に至る過程、憲法に盛り込まれた連邦制の下での大統領制の確立の過程を検証する。次いで大統領制の歴史的な展開をワシントンから現代まで論ずる。

続いて合衆国憲法第2条に書かれている大統領の役割と諸権限——行政部の首長、国家元首、最高司令官、主任立法官、主任外交官など——を説明する。

それに引き続きセクションでは大統領が憲法に書かれてはいない役割をも担っていることなど、大統領のリーダーシップに関連したことがらにも触れていきたい。

【評価方法】 期末に実施される筆記試験が評価に最も重要な比率を占めるが、学期中に小レポートを課す予定であり、これらを総合して評価したい。クラスでの討論参加なども考慮したい。

【テキスト】 五十嵐他編『アメリカの社会と政治』 有斐閣 1995年  
阿部斉、久保文明『現代アメリカの政治』 放送大学教育振興会 1997年  
他に適宜プリントを配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41631	アメリカ政治特殊研究	選	秋学期	2	3・4	岩野 一郎
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 『代表制の諸問題—代表・選挙・政党・圧力団体・議会』

【講義内容】 人民主権を原則にしているどの国でも、特殊な例外を除き、直接民主制ではなしに、代議制民主制の政体とらわれている。そこで、まず人民の主権がどのように「代表」され、それがなぜ「代議制」といえるのかについて考察し、「代表制」の論点を整理する。

次いで、「代表」の選出を可能にする選挙制度、また、「代表」を政治過程に組み込む役割を果たす政党や圧力団体、さらには「代表」が選良という形を取って政策決定に関わる議会（主として連邦議会）について考察する。

春学期の「アメリカの政治」の履修をしていることが望ましいが、必ずしも本講義の履修の要件とはしない。

【講義計画】 民主政治の形態は直接民主制と間接民主制に分類することが可能であるが、「代表」は後者の制度を取るにあたって、なくてはならない概念である。そこで、まずThomas PaineやEdmund Burkeらによって、民主政治の始源的形態である直接民主制から、何故間接民主制に向かわなければならないかにつき論ずる。

次いで、

- ①「代表」を選出するための選挙制度の変遷（選挙権、被選挙権の拡大ならびに候補者の指名過程など）
- ②選挙に欠くことの出来ない団体である「政党」およびその史的展開
- ③選挙時に活動が目立つ「圧力団体」の役割と代表との関係
- ④選挙によって確立される「議会」と立法過程

の順に、講義を進めていく。

【評価方法】 評価には期末に行われる筆記試験が最も重視されるが、学期中に小レポートを課し、このレポートと共に総合的に評価する。

【テキスト】 福田他編『現代アメリカ合衆国—冷戦後の社会・経済・政治・外交』 ミネルヴァ書房 1993年  
五十嵐他編『アメリカの社会と政治』 有斐閣 1995年  
阿部斉、久保文明『現代アメリカの政治』 放送大学教育振興会 1997年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41636	アメリカの社会	選	春学期	2	3・4	藤本 哲史	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 ジェンダーと社会

【講義内容】 この授業では現代アメリカが抱える社会問題、特に学校教育、雇用労働、結婚と家族、健康と医療制度などの領域における諸問題をジェンダーの視点から整理、分析する。まず第一に、ジェンダーの社会的構築のメカニズム、社会生活のジェンダー化とはどのようなことを意味するのか等の基礎的事項を確認し、第二にアメリカにおけるさまざまな社会的問題にジェンダーはどのように関連し、その結果いかなる社会問題がひきおこされているかを検証する。そして第三に、これらの問題を日本の状況と照らし合わせて考え、アメリカが抱える問題を単に隣国の問題として捉えるだけでよいのかを検討する。

【講義計画】 具体的には、以下のような問題を考える。  
 (1) 性差の社会的定義付け：ジェンダーおよびその関連概念  
 (2) 性役割期待：ステレオタイプと役割社会化、ジェンダー・アイデンティティー形成上の問題  
 (3) 大学教育のジェンダー化：教育における隠されたカリキュラム、キャンパス・セクハラを生む土壌  
 (4) 雇用とジェンダー：雇用労働における男女不平等の現状と問題点  
 (5) 家族とジェンダー：家族の中の勢力関係と性役割分業、家事労働について  
 (6) 変容する結婚と家族の意味：離婚と家族形態の多様性  
 (7) ドメスティック・バイオレンスと社会構造  
 (8) セクシュアル・アビュース：性犯罪と法  
 (9) オルタナティヴ・ライフスタイル：性の多様性、性的指向性、ホモフォビア  
 (10) リプロダクティヴ・ライツ：性の自己決定権とは

【評価方法】 期末試験 100%

【テキスト】 指定テキストなし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41641	アメリカ社会特殊研究	選	秋学期	2	3・4	藤本 哲史	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 雇用労働とジェンダー：アメリカを中心として

【講義内容】 このクラスでは、現代社会において雇用労働、職場、経営組織がいかに性によって分化、階層化されているかを、主としてアメリカに焦点をあてて探る。中心を貫くテーマは雇用における男女不平等とそれが社会に与える影響であるが、特に経営組織における性別職務分離 (occupational sex segregation) に焦点を絞る。アメリカにおける性分離の歴史やトレンド、また賃金や昇進構造のジェンダー化、そして職場における男女の勢力関係の規定要因や職場生活経験の男女格差等の問題を考察する。また、家庭生活と仕事生活との関係、特にワーク・ファミリー・コンフリクトの問題についても触れ、アメリカ企業の家族支援政策の展開を日本企業との比較において考察する。

【講義計画】 具体的には、以下のような問題を考える。  
 (1) 労働とジェンダー：労働のジェンダー化とは何か  
 (2) 欧米における労働のジェンダー化の概史：産業革命が性分業の強化に与えた影響と男女分離思想  
 (3) 労働における男女不平等の概説：性差別に関するさまざまな言説  
     社会・文化的価値観、権力作用、事業主の意図と行動、女性による仕事選択の問題など  
 (4) 経営組織における性別職務分離：アメリカにおける性分離の歴史、職務レベルと職業レベルの性分離  
     職務分離指標 (Index of Segregation) による分離の時系列および国際比較  
 (5) 性別職務分離に関する言説：合理的選択・役割社会化モデル vs. 構造モデル  
 (6) 賃金、昇進、職務権威の男女格差と、その原因に関する言説  
 (7) ワーク・ファミリー・コンフリクト：企業による従業員の家族生活支援、  
     Family-Supportive Policiesについて

(8) 職場のセクシュアル・ハラスメントを考える

【評価方法】 期末試験 100%

【テキスト】 指定テキストなし。授業内で配布するレジュメおよび資料を中心に行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41646	アメリカの外交	選	春学期	2	3・4	藤本博	
他の科目との関連	「アメリカ外交特殊研究」も履修することが望ましい					他学科履修	可

【副題】 「冷戦の時代」における国際関係とアメリカ合衆国

【講義内容】 20世紀は「アメリカの世紀」と言われることが多い。本講義では、主として第二次世界大戦後のアメリカ外交の展開を跡付け、「アメリカの世紀」の特徴を検討してみる。具体的には、第二次世界大戦後長らく続いた「冷戦の時代」を中心に「バクス・アメリカーナ」の形成・展開・変容を問題にする。また、「冷戦終焉」後のアメリカ外交の変遷についても言及しながら、21世紀におけるアメリカ外交の課題についても考えてみたい。

【講義計画】 以下の内容に即して講義を進める

1. アメリカの戦後世界秩序構想と第二次世界大戦の終結
2. 「冷戦」の起源と「バクス・アメリカーナ」の構築
3. 「脱植民地化」の胎動と「冷戦」の影
4. 朝鮮戦争と「冷戦」の軍事化
5. アイゼンハワー外交の展開—米ソ核軍拡競争の進展
6. 「冷戦」体制の変容と「バクス・アメリカーナ」の動揺—「ベルリンの壁」、キューバ危機、ヴェトナム戦争
7. 「デタント」外交と「バクス・アメリカーナ」の再編
8. 「冷戦終焉」後の世界とアメリカ外交
9. 21世紀におけるアメリカ外交の課題—「冷戦の時代」の遺産と教訓

【評価方法】 随時課す予定の小レポートならびに学期末試験の結果を中心に評価する。

【テキスト】 Hiroshi Fujimoto & Hirata Masaki, ed. *Unforgettable War: America and Vietnam, A Learner's Guide* [2000年] 第1回目の講義時に購入してもらいます。受講生はテキスト代金1,200円を用意して下さい。

【その他】 【参考文献】  
藤本 博「第二次世界大戦後のアメリカ外交」野村達朗編『アメリカ合衆国の歴史』（ミネルヴァ書房、1998年）所収

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41651	アメリカ外交特殊研究	選	秋学期	2	3・4	藤本博	
他の科目との関連	「アメリカ外交」も履修することが望ましい					他学科履修	可

【副題】 アメリカ合衆国とヴェトナム戦争

【講義内容】 ヴェトナム戦争は、アメリカ合衆国側から見れば、米軍戦闘部隊派遣に限っても8年間（1965～73年）に及ぶ軍事介入を行った戦争であり、「アメリカの最も長い戦争」であった。ヴェトナムにおける軍事介入はアメリカの冷戦外交の帰結であったがゆえに、その軍事介入の挫折は、アメリカの冷戦外交の再検討を迫ると同時に、アメリカ的価値観への疑念を国内に広めることにもなった。また、「ヴェトナム戦争後」においても、アメリカの対外介入のあり方に大きな影をおとしている。

本講義では、アメリカ合衆国にとってこのような歴史的意味をもつヴェトナム戦争をとりあげ、アメリカ外交の展開を中心に据えながら、「ヴェトナム戦争の時代」を考察し、アメリカ理解への一助としたい。講義においては、ヴェトナム戦争がアメリカ社会に及ぼした影響、アメリカ（人）の戦争観、アメリカに

おけるベトナム戦争の遺産などの諸問題についても考えてみる予定である。

【講義計画】

以下の内容に即して講義を進める

1. アメリカ合衆国にとってのベトナム戦争
2. 「冷戦」体制の形成・確立とアメリカの直接介入、1945-1960年
3. ケネディ政権とベトナム、1961-63年
4. 「アメリカへの戦争」への道と戦争の実態、1963-1967年
5. アメリカの戦争政策の挫折、1967-1968年
6. 「冷戦」体制の再編とベトナム戦争終結への道、1969-75年
7. 「ベトナム症候群」と「ベトナム戦後」のアメリカ外交
8. ベトナム戦争の遺産と今日のアメリカ合衆国

【評価方法】

随時課す予定の小レポートならびに学期末試験の結果を中心に評価する。

【テキスト】

Hiroshi Fujimoto & Hirata Masaki, ed. *Unforgettable War: America and Vietnam, A Learner's Guide* [2000年]  
第1回目の講義時に購入してもらいます。受講生はテキスト代金1,200円を用意して下さい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41656	アメリカの経済	選	春学期	2	3・4	西村 貞雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】

アメリカ経済の特質——自由競争と政府の役割

【講義内容】

アメリカ経済の歴史的発展を素描した後、第二次世界大戦後のアメリカの経済問題をマクロ経済問題を中心に重点的に説明する。生産性上昇率停滞、失業率と完全雇用、ドルと貿易赤字、所得分配の不平等化、その他の問題を経済学的な視点から説明する。

【講義計画】

まずアメリカ経済の歴史的発展を素描して「自由競争」がどのような意味を持っているかを説明し、20世紀に入ることから「政府の経済的役割」が増大していった背景を説明する。その上で第二次大戦後のアメリカ経済に議論を移し、その二つの視点から戦後のアメリカ経済の流れをどのように理解すべきかを説明する。講義の中心は戦後アメリカのマクロ経済の動向にある。

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】

テキストは使わず、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
41661	アメリカ経済特殊研究	選	秋学期	2	3・4	西村 貞雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】

現代アメリカ経済の諸問題

【講義内容】

現代のアメリカ経済が抱えているいくつかの問題を取り上げ、それを分析していく。アメリカ経済のマクロ的変動、生産性上昇率の問題、財政赤字と黒字、金融政策の動向、規制緩和、ドルと貿易赤字、アメリカの通商政策、ニューエコノミー論、など扱うべき問題は数多くあるが、それらからいくつかを取り上げて説明する。

【講義計画】

この授業は経済研究の基礎の講義が基本的な前提となるが、授業にあたってはミクロ経済学とマクロ経済学の知識を必要な限りで最初に簡単に説明する。そのあとその知識を使いながら、アメリカの経済問題を分析、説明する。本年度は、インフレと失業、財政の問題、規制緩和、ニューエコノミー論、ドルと貿易赤字、アメリカの通商政策、などを取り上げる予定。

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】 テキストは使わず、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41666	日米関係論	選	春学期	2	3・4	宮川 佳三	
他の科目との関連	国際関係論の基礎（日本とアメリカ） アメリカの外交 異文化との出会い（国際社会と日本）					他学科履修	可

【副題】 20世紀における東アジアに於ける日米関係

【講義内容】 「国際システムにおけるアメリカ」を軸に、アメリカの世界戦略の中での対アジア・太平洋政策を歴史の流れの中で整理する。その過程で、19世紀末から20世紀初めにかけての日米関係、戦間期のアジア（中国）を舞台にした日米の利害の対立、真珠湾と原爆投下、占領時代、冷戦時代一特にベトナム戦争、ニクソン政権下の日米関係、1980年代の「第二次冷戦」の日米関係、冷戦終焉後の日米関係をトピックとして取り上げ、アメリカ外交の特質、日本外交の特質を理解し、21世紀に向う日米関係を展望するための助けにする。

【講義計画】 講義内容を学ぶために、アメリカの外交の特質とその背景、日本の鎖国政策と開国、日本の近代化、アメリカの膨脹主義（マニフェスト・デスティニー）、20世紀初頭の東アジアの日米関係、1920年代の日米関係、日本の中国大陸への侵略、真珠湾への道、アジア・太平洋戦争後の日米関係（日本のアメリカ属国化）、冷戦期の日本のアメリカ化、日本の軍事政策のアメリカ化、等について整理し、更なる研究の基礎となるように工夫する。  
21世紀の日本の国際社会との係わり方を考える材料を提供する。

【評価方法】 レポート or ブック・レビュー一点、定期試験、小テスト（数回）、出席状況に基づき評価する。

【テキスト】 アメリカ外交・日本外交に関する資料・論文。新聞・雑誌の論説・記事（英文・邦文）

【その他】 参考図書  
有賀 貞他編 『概説アメリカ外交史』（有斐閣）  
細谷 千博編 『日米関係通史』（東大出版会）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41671 41672	英米の思想	選	夏期後半 又は 秋学期	各2	3・4	小池 英光	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【講義内容】 アメリカの思想を通覧したうえで、事実と価値の分離と再結合というムアが提起した課題とそれに対する英米思想の取り組みを検討し、この問題を提起した英米の思想基盤を明らかにする。とくに現代アメリカ思想の対応を中心に概説する。  
(以下詳細は文学部哲学科開講科目11681「哲学史特殊講義D I I」および11685「哲学史特殊講義D II」を参照。)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41676	基礎英語通訳法	選	春学期	2	3・4	近藤 祐一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 この授業では、英語通訳をする上で必要な技能を身につけることを目標とする。そのために、視聴覚教

室においてアメリカのニュース番組等を使用し、英語圏の社会・文化背景を学ぶだけでなく、英語の語彙・表現を豊かにする。また、リスニング能力の向上、アクセントの矯正なども行う。

**【講義計画】** 英語通訳とはどういうものか、通訳に必要な技術をどう学ぶかを中心に授業を進める。この科目はあくまでも技術を教授するものであるため、毎回の課題を精力的にこなすことが求められ、さらに教室外でも相当の自習が求められる。特にこの授業では通訳に必要なリスニング力、内容把握力、単語力を身につけることに重点を置き、前半は、リスニングとアクセント修正練習を行う。学期後半は、逐次通訳の初歩として、簡単な英文の通訳を通して、通訳ノートの取り方や適切な訳をする方法を学ぶ。毎回授業のはじめに語彙の強化を目的とした単語テストを行う。

**【評価方法】** 毎週の小テスト（40%）および教室内での実習の成績（60%）によって評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41681	上級英語通訳法	選	秋学期	2	3・4	近藤 祐一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

**【講義内容】** 基礎英語通訳法で培った技能を基に、通訳ノートの取り方、逐次通訳・同時通訳の基礎を学ぶ。また、通訳時に起こる異文化コミュニケーションの諸問題についても学習する。

**【講義計画】** 基礎英語通訳法に続き、英語通訳とはどういうものか、通訳に必要な技術をどう学ぶかを中心に授業を進める。この科目はあくまでも技術を教授するものであるため、毎回の課題を精力的にこなすことが求められ、さらに教室外でも相当の自習が求められる。授業は、テレビニュースを使った小テスト、実技練習からなる。学期前半は、基礎英語通訳法で訓練した、リスニング力、内容把握力、単語力をもとにいくつかのスピーチを用いて同時通訳（英日）の基本を中心に学ぶ。後半は、逐次通訳の技術をさらに深めることを目標とする。現場での通訳ができるように、いろいろな形態の通訳を経験することも含めていく。

**【評価方法】** 毎週の小テスト（40%）および教室内での実習の成績（60%）によって評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41686	マスメディアの英語	選	秋学期	2	3・4	宮川 佳三	
他の科目との関連						他学科履修	不可

**【副題】** 国際政治・経済・社会の英語：リーディングとリスニングとライティング

**【講義内容】** 国際政治・経済・社会のニュースを読んだり、聞いたり、ビデオを見たりして、世界の経済・政治・社会の動向を理解しながら、読む力、聴く力を増大させ、英語の表現、英文の構造、英文記事全体の構造等に自分自身で近づき、実際に国際政治・経済・社会の諸問題について英文エッセイを書くこともする。

**【講義計画】** リーディングのために、英字新聞・雑誌の記事・論説・解説を利用し、リスニングのために、ABC、CNN、PBS、NHK-BS、BBCの番組を使用する。多くの予習を課し、特にリスニングに関しては、番組を録音し、全文ディクテーションや要約「英文」の宿題を毎時課す。授業ではリーディング及びリスニング資料の分析・理解を各自に求める。毎回ディクテーションを含む小テストを行う。英語での議論・討論・意見の交換を行うことができればいいと思っている。受講者の積極性に期待する。

**【評価方法】** 小テスト、ディクテーションや要約の宿題、授業への参加度、定期テスト、出席状況をトータルに評価する。

**【テキスト】** 新聞・雑誌の記事・論説・社説約150件を資料として使用。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41691	英語プレゼンテーション	選	秋学期	2	3・4	岡部 朗一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 英語での論理的な自己プレゼンテーションを目指して

【講義内容】 英語で論理的な自己プレゼンテーションを図るために、英語プレゼンテーションの構想法、構成法、修辭法の原理について、原書の講読を通して学習する。英語プレゼンテーションのためのアイデアの生成方法、起こした想を論理的にアウトラインに配置する方法、適切は話体での英語表現の仕方といったトピックに焦点をあてて、レトリック思考に立脚した英語プレゼンテーション法の実践訓練を通して、英語での論理的な自己表現を修得することを目標とする。

【講義計画】 クラスでは、英語プレゼンテーションを扱った原書の講読を通してその基本理論を学習した後で、情報を正確に伝えるための英語プレゼンテーションと、論理的、説得的にアイデアを呈示するための英語プレゼンテーションの実践練習を行なう。

【評価方法】 1回の定期試験、クラスでの3回のプレゼンテーション実習、提出課題、授業への出席状況を総合的に判断して評価する。

【テキスト】 Sonja K. Foss and Karen A. Foss, *Inviting Transformation: Presentational Speaking for a Changing World*, Waveland Press, 1994.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41696 ） 41699	英語翻訳法	選	春学期 または 秋学期	各2	3・4	ASTLEY Trevor	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 日本語で書かれた文章を英語に翻訳する技能を学ぶ。日本語と英語に見られる言語的な差異を留意して、日本語の文章を英語で正確に翻訳する訓練を行う。

【講義計画】 人文や社会科学の分野を中心に、多様な日本語のテキストを翻訳者の立場から見て、その問題点を指摘しながらふさふさしい英語に直す訓練をする。

【評価方法】 発表と翻訳のプロジェクトによる評価とする。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41701 41702	ビジネス・コミュニケーション	選	春学期 または 秋学期	各2	3・4	WRIGHT Mark	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 様々なビジネス環境の下で英語を使ってコミュニケーションを行う能力を高めることを目的とする。ビジネス・ライティングと同時に英語による意思疎通の能力を向上させる。そのためワードプロセッサやE-mailなどコンピュータを駆使した技術も紹介し、実際のビジネス環境を想定したシミュレーションを通じて実践的な訓練を行って、高度なビジネス・コミュニケーションの技術を習得させていく。

【講義計画】 Each class will be divided into three sections: introduction of principles; discussion of those principles; and interaction using what we have learned. Students will be expected to actively participate in all three sections by answering questions, engaging fellow students in discussion and participating in simulations and role-plays to put what has been learned into practice. Emphasis in the class is on active participation. The course will be taught in English.

【評価方法】 Evaluation will be a negotiated process, with the following factors being considered: quantity and quality of class participation; quantity and quality of assignments; and quality of the final project. There will be outside reading required and homework assigned every class. Every student will be required to complete a final report or project after consultation with the instructor. There will be no final examination.

【テキスト】 To be announced prior to the start of the semester

(英語)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41706	クリエイティブ・ライティング	選	春学期	2	3・4	WORDELL Charles	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Creative Writing

【講義内容】 英語で詩や短編小説、その他の創作を行なうコース。はじめに、良い文学作品の鍵は何かを具体例を取りあげて学び、次いで、そこで修得した技術を応用して、各人が創作を行ってゆく。授業と期末レポートでは英語の詩や歌、物語や広告の文句、寸劇などの創作を行なう。

【講義計画】 In this one-semester course, students will learn to use more colorful, descriptive, and expressive English in their writing. We will use poetry, essays, narration, short dramas, and fiction to express ourselves. First students learn what makes a piece of literature good, and then they apply those standards to works they create themselves. This is your chance to show your creative and artistic side in English. There will be short reading and writing assignments, as well as the exercises we will do in the class.

Classes 1-3: Reading and Writing Songs and Poetry; Classes 4-5: Reading and Writing Narrations; Classes 6-8: Reading and Writing Essays; Classes 9-11: Reading and Writing Fiction; Classes 12-13: Reading and Writing a Short Drama.

【評価方法】 I hope to conduct this class in a relaxed and enjoyable atmosphere so we can explore many ways of exchanging ideas. Class grade will be based on enthusiasm and participation in class (30%); completion of the homework writing and reading assignments (50%); and writing a short drama as a final report (20%). Because much of our work will be done in class, it is necessary for you to come to class and participate. Too many absences will affect your grade.

【テキスト】 No text will be used in this class. Instead, there will be handouts.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
41707 41708	クリエイティブ・ライティング	選	春学期 または 秋学期	各2	3・4	KINDT Duane	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 英語で詩や短編小説、その他の創作を行なうコース。はじめに、良い文学作品の鍵は何かを具体例を取りあげて学び、次いで、そこで修得した技術を応用して、各人が創作を行ってゆく。授業と期末レポートでは英語の詩や歌、物語や広告の文句、寸劇などの創作を行なう。

【講義計画】 The words that we most often associate with *creative writing* are “story,” “poetry,” and “drame.” But learning to write creatively can make any kind of writing—from academic papers to New Year’s cards—more colorful, expressive, and interesting.

With this in mind, Creative Writing intends to give students several opportunities to expand their skills and interests in expressing themselves more vividly and descriptively in English. Though we will focus on the popular genres of narration, poetry, and drama, other types of writing may also be explored. Students will discover how becoming more familiar with literary concepts such as symbol, metaphor, plot, and point of view and writing processes such as brainstorming, drafting, revising, and editing can contribute to becoming a more creative writer. They will also discover that creative writing can be enjoyable and satisfying.

Classes will be conducted using a mixture of short lecture, discussion, creative writing activities, and student presentations. Because success in writing creatively depends greatly on our ability to remove inhibition and “open up our creative selves,” students will be asked to assist in creating a friendly, relaxed, and supportive atmosphere in and outside of the classroom. After all, it is through the courage to share ideas and writing with others, that a student can discover his or her own creative voice.

【評価方法】

Evaluation will be based on a portfolio of creative writing, a creative writing journal, and enthusiasm and effort in class. Since assignments are related to class activities, it is essential that you come to class on time and participate fully. Each absence will reduce your grade, those students having more than 3 absences being unable to receive credit.

【テキスト】

To be decided, if any.